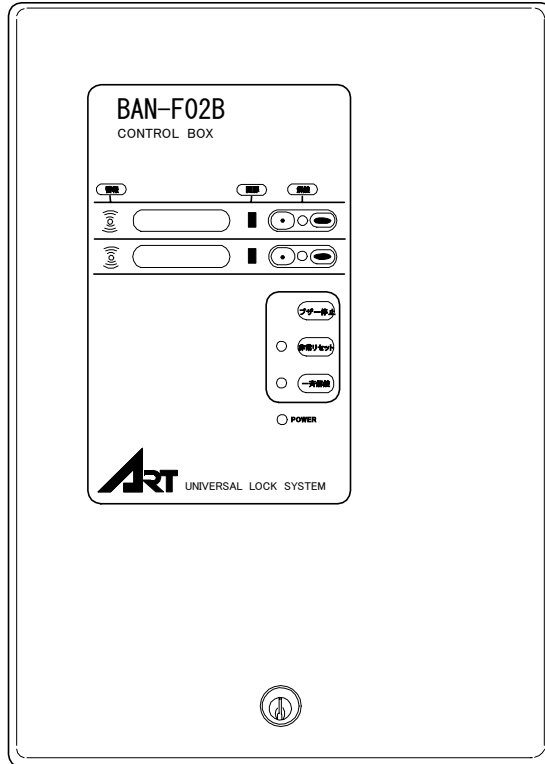


電気錠制御盤

型式

BAN-F02B



工事店様へお願い

取付・調整後、本書をお客様にお渡しください。

-目次-

安全にお使いいただくために	1
1. 準備	2
1-1. 梱包の内容	2
1-2. 準備するもの	2
2. 主な特徴	3
2-1. システム構成例	3
2-2. 各部の名称	4
2-3. 製品仕様	5
2-4. 外形図	5
3. 施工（本体）	6
3-1. 作業手順	6
3-2. 電気錠制御盤の取付け	7
3-3. 電気錠制御盤の接続・結線	8
(1) 基本接続および端子台図	8
(2) 接続準備	9
3-4. 電気錠の接続	10
(1) 各社電気錠対応表	10
(2) 美和ロック製電気錠の接続	11
(3) ゴール製電気錠の接続	13
(4) 堀商店製電気錠の接続	14
(5) 自動扉の接続	16
3-5. 電気錠制御盤の設定	17
(1) 解錠時間の設定	17
(2) ブザー音有無の設定	17
(3) 停電時解錠有無の設定	18
(4) A/Bモードの設定	18
(5) 連続解錠入力の設定	18
4. 動作テスト（本体）	19
5. 施工（オプション）	20
5-1. タイマユニット AT-01 (C-U11TM)	20
(1) 取付・接続	20
(2) 設定	21
5-2. オプション基板 BAN-F01B・02B0P	23
(1) 取付・接続	23
5-3. バッテリ BAN-F01B・F02B BATT (BAN-FB用バッテリー)	24
(1) 取付・接続	24
5-4. 磁気式カードリーダー R-2710	25
(1) 接続	25
(2) 設定	26
5-5. 指紋照合式リーダー F-7140	28






(1) 接続	28
(2) 指紋照合式リーダー F-7140の設定	29
5-6. デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IF(取付金具付)	32
(1) 取付・接続	32
(2) 設定	34
5-7. 操作表示機の接続	36
6. 動作テスト(オプション品)	38
7. トラブルシューティング	39
7-1. 警報について	39
7-2. 故障かな・・・と思ったら	40
8. アフターサービス	41
9. 設定記入表	41

安全にお使いいただくために





製品を安全に正しくお使いいただくために、下記の注意点をよくお読みのうえ設置・接続・操作を行ってください。

文中には製品を扱われる方や他の人々へ危害や損害が及ばないように、以下のような絵記号が表記されています。内容をよく理解されてからお読みください。



絵記号とその意味

- | | | |
|---|-----------|---|
|  | 警告 | 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重症を負う可能性が想定されることを示しています。 |
|  | 注意 | 取扱いを誤った場合に使用者が軽傷または物的損害を負う可能性が想定されることを示しています。 |
|  | | 一般的な禁止事項を示しています。 |
|  | | 一般的な指示事項を示しています。 |
|  | | 必ずアース線を接続せよ(強制事項を示しています)。 |

工事店様へ

●施工後、取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。	
<p style="text-align: center;"> 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源の配線は特に注意して、抜け・ゆるみがないように、確実に結線してください！ ●AC100V電源の工事は電気工事士の資格所持者が行ってください。 ●次のような場所に設置しますと故障や破損の原因となりますので避けてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・雨や水のかかる場所・湿気の多い場所や、ホコリの多い場所。 ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温となる場所。 	
●落雷や漏電による感電事故を避けるため、必ずアース線を接続してください。	

お客様へ

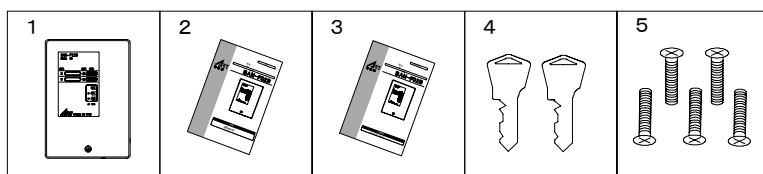
<ul style="list-style-type: none"> ●分解・取外しや改造はしないでください！ ●水などの液体をかけたり、水にぬれた手で触れないでください！ ●装置の中に、針やヘアピンなどの金属類を差し込まないでください！ 	
<ul style="list-style-type: none"> ●修理や移設・取外しは、工事店様または弊社サービス店にお任せください。 ●発熱等の異常が発生した場合は、電源を切り、弊社へご連絡ください。 ●停電時は施錠状態になる場合がありますので、そのときは鍵で解錠できるように予め鍵を準備して置いてください。 	

1. 準備

1-1. 梱包の内容

梱包箱には以下のものが含まれていますので、すべてのものがそろっていることを確認してください。

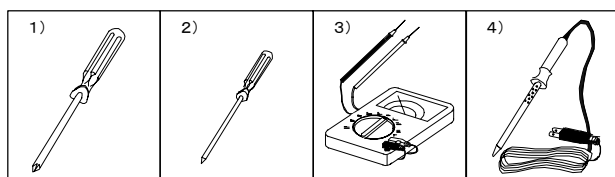
- | | |
|---------------------------|----|
| 1) 電気錠制御盤 BAN-F02B | 1台 |
| 2) 取扱説明書（お客様用） | 1部 |
| 3) 取扱説明書（工事店様用／お客様用）（本書） | 1部 |
| 4) 蓋開閉用キー | 2本 |
| 5) 盤取付ネジ（タッピングネジ 4×40 ナベ） | 5本 |



1-2. 準備するもの

本体とリーダの施工と設定に以下の物を準備してください。

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| 1) +ドライバー | ・・・ 本体をネジ留めする際に使用します。 |
| 2) - (小) ドライバ | ・・・ 端子台にケーブルを接続する際に使用します。 |
| 3) テスタ | ・・・ 電源の100V、外装線の導通テストを行う際に使用します。 |
| 4) ハンダ（ごて） | ・・・ 電線の接続はハンダ仕上げをしてください。 |

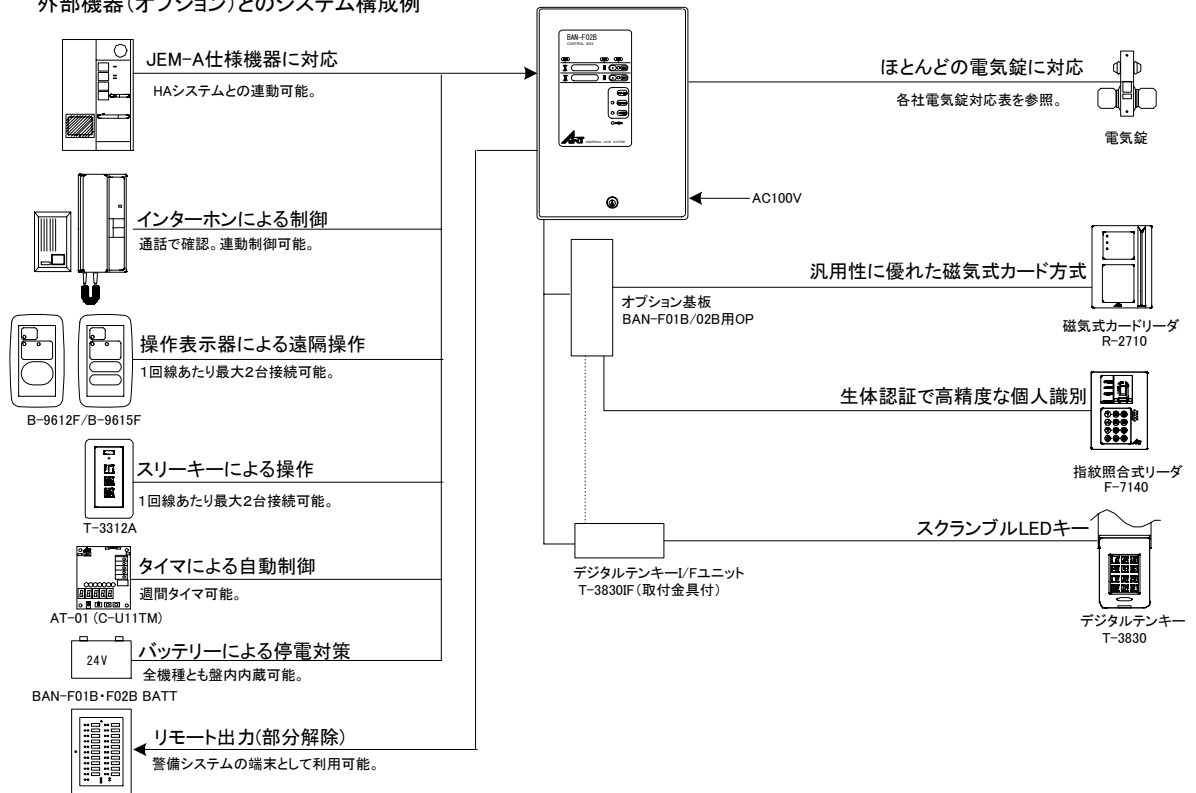


2. 主な特徴

2-1. システム構成例

システム構成例を以下に示します。

外部機器(オプション)とのシステム構成例



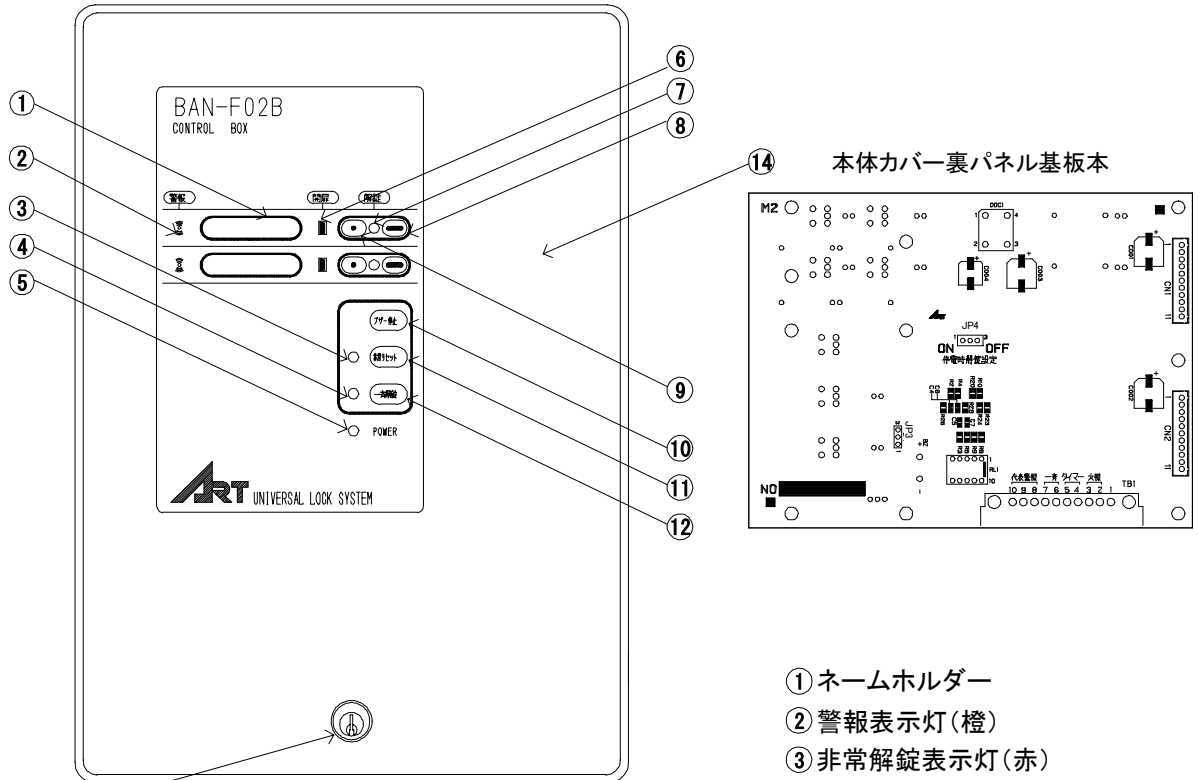
<主な特徴>

BAN-F02Bは、住宅やビルの出入り口など入室を制限したい扉の電気錠を操作ボタンにより解錠する2回線の電気錠制御盤です。デジタルテンキー、磁気式カードリーダー、指紋照合式リーダー、操作表示器などのオプション機器と組み合わせて使用することができます。

- 国内ロックメーカーのほとんどの電気錠に対応しています。
- 運用方法に応じた2つのモードが選べます。
- 異常発生時は、LEDランプと警報ブザーでお知らせします。
- オプション基板の追加で、磁気式カードリーダー、指紋照合式リーダー、デジタルテンキーとシステムアップ可能です(オプション)。
- タイマユニットを電気錠制御盤に内蔵することにより、運用に合わせて施錠や解錠を行うことができます(オプション)。
- 停電時に備えて、バッテリーを電気錠制御盤に内蔵できます(オプション)。

2-2. 各部の名称

各部の名称を以下に示します。



- ① ネームホルダー
- ② 警報表示灯(橙)
- ③ 非常解錠表示灯(赤)
- ④ 一斉解錠表示灯(赤)
- ⑤ 電源表示灯 AC時(緑)
バッテリー時(赤)

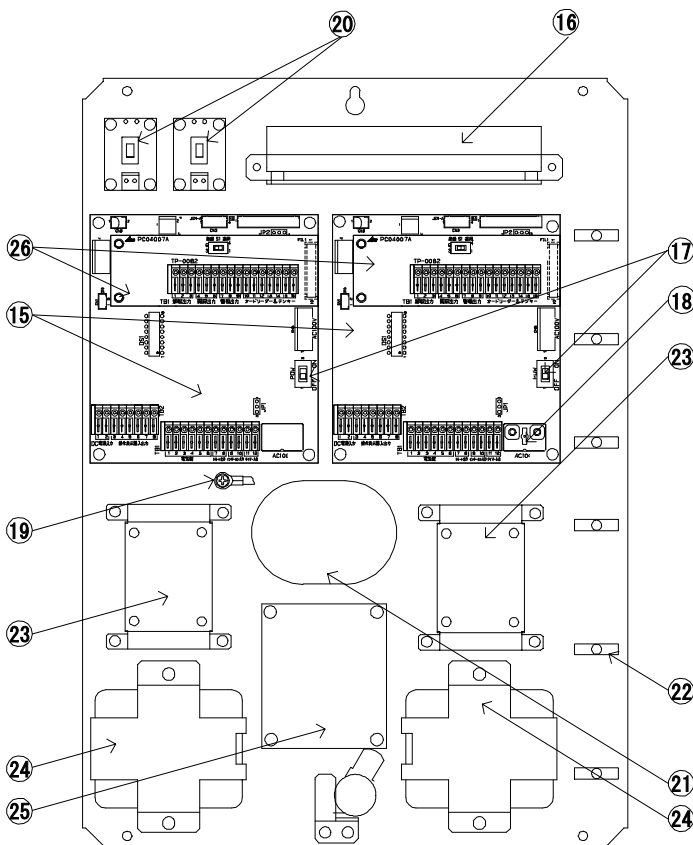
- ⑥ 開扉表示灯(赤)
- ⑦ 解錠表示灯(緑)
- ⑧ 連続解錠釦/施錠釦
- ⑨ 一回解錠釦/解錠釦
- ⑩ ブザー停止釦
- ⑪ 非常リセット釦

- ⑫ 一斉解錠釦
- ⑬ シリンダ錠
- ⑭ パネル基板
- ⑮ CPU基板
- ⑯ 電源ユニット
- ⑰ 電源スイッチ
- ⑱ 電源接続端子台

- ⑲ アース端子(AC100V)
- ⑳ バッテリスイッチ
- ㉑ 通線孔
- ㉒ ケーブルランプ

- ㉓ デジタルテンキー I/Fユニット
- ㉔ バッテリ
- ㉕ タイマーユニットAT-01
- ㉖ オプション基板

注意: □はオプションです。



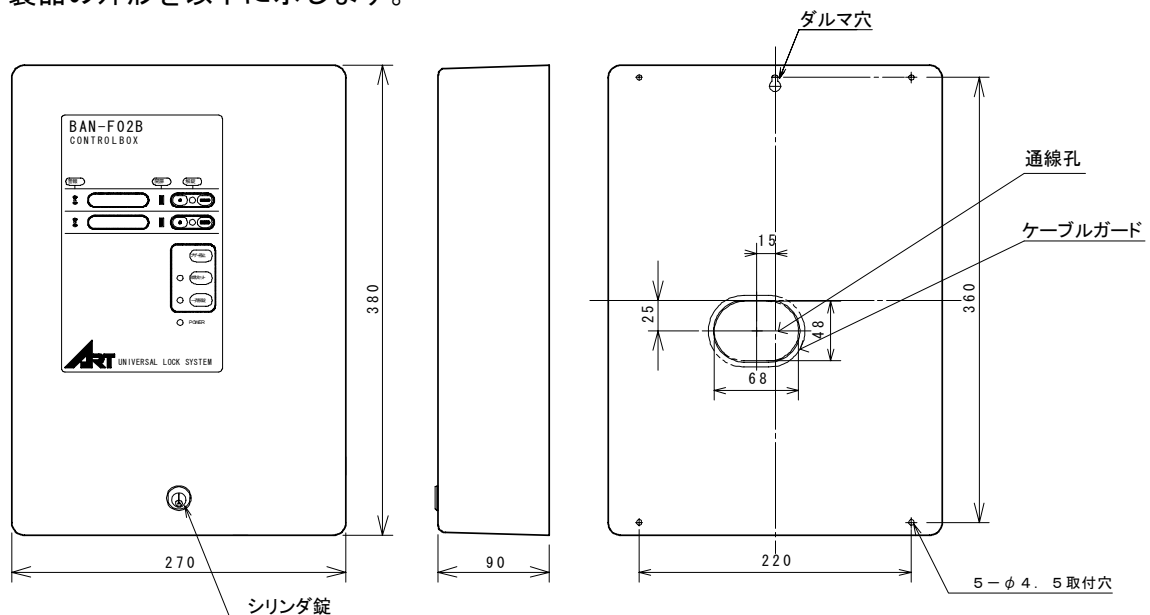
2-3. 製品仕様

製品の仕様を以下に示します。

最大制御回線数	2回線
電源/消費電力	AC100V±10% 50/60Hz 38W
制御方式	CPU制御
電気錠設定	ディップスイッチによる設定にて切換
解錠時間設定	5, 10, 20, 30秒
開扉警報時間	30秒
LED 表示	電源/警報/開扉/解錠/一斉解錠/非常解錠
警報ブザー	開扉警報/施錠不良警報/解錠不良警報/コジアケ警報
操作ボタン	一回解錠(Bモード時は解錠)/連続解錠(Bモード時は施錠)/一斉解錠/非常解リセット/ブザー停止
外部出力	リモート出力/開扉表示出力/解錠表示出力/代表警報出力
外部入力	タイマ入力/JEM-A入力(HAコントローラ)/インターホン入力/一回解錠入力/連続解錠入力/一斉解錠入力/火報入力
オプション	磁気式カードリーダー/指紋照合式リーダー/デジタルテンキー/タイマユニット 操作表示器
使用温度 / 湿度	0~40°C/40~80% (結露なきこと)
外形寸法 / 重量	幅270×高さ380×奥行90(mm) 約2.7kg
材質 / 色彩	ABS樹脂 シボ加工 マンセル2.5Y 9/1近似色

2-4. 外形図

製品の外形を以下に示します。



3. 施工（本体）

3-1. 作業手順

手順 **1**

梱包内容を確認する

梱包箱を開けて、必要な物がそろっていることを確認します。
【1-1. 梱包の内容】および【1-2. 準備するもの】をご参照ください。



手順 **2**

電気錠制御盤を取り付ける

電気錠制御盤本体を壁面に取り付けます。
【3-2. 電気錠制御盤の取付】をご参照ください。



手順 **3**

電気錠制御盤の電源を接続する

該当電源系統のブレーカ、および電気錠制御盤の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
【3-3. 電気錠制御盤の接続・結線】をご参照ください。



手順 **4**

電気錠を接続する

電気錠制御盤に電気錠を接続します。
【3-4. 電気錠の接続】をご参照ください。



手順 **5**

電気錠の設定をする

ディップスイッチにて電気錠の設定をします。
【3-4. 電気錠の接続】をご参照ください。



手順 **6**

基本設定をする

各種動作の基本の設定をします。
【3-5. 電気錠制御盤の設定】をご参照ください。



手順 **7**

動作テストをする

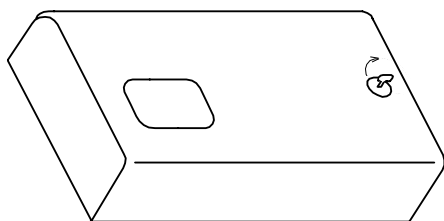
電源のブレーカおよび、電気錠制御盤の電源スイッチをONにして下さい。
電気錠が正常に動くかどうか、設定が正しいか動作テストを行います。
【4. 動作テスト(本体)】をご参照ください。

3-2. 電気錠制御盤の取付け

(1) 設置予定の壁面の確認

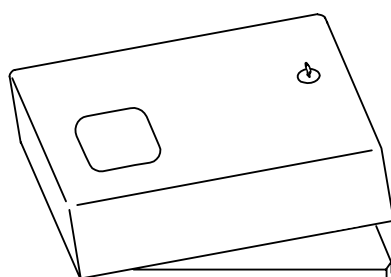
壁の状況により付属の取り付けネジでは取り付けられない場合は、別途ご用意願います。

(2) 制御盤本体カバーの取外し



① 本体を平らなところにねかせておきます。

② キーを差し込み、右に90度回してロックを外します。



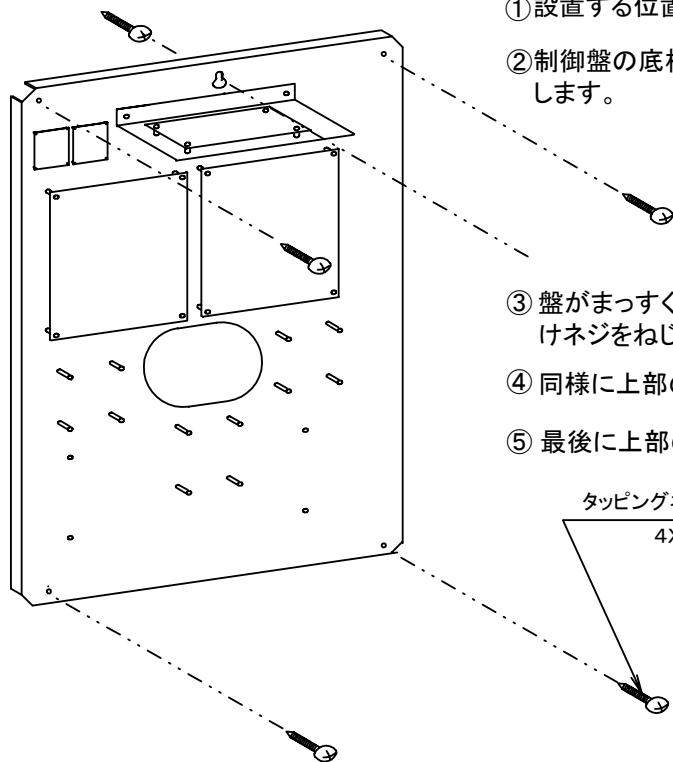
③ カバーの下部をゆっくり持ち上げて、隙間が50mmくらい開いたところで上方にゆっくりスライドさせ、本体基板のコネクタを抜いてから取外してください。

上方にスライド
50mmくらい

⚠ 注意

カバーと本体はケーブルで接続されています。カバーを外しながら本体側のCPU基板上CN2のコネクタをゆっくり引き抜いてください。

(3) 制御盤の取付け



① 設置する位置の中央上部に1本、取付けネジをねじ込みます。

② 制御盤の底板上部中央にあるだるま孔に引っ掛けて仮止めます。

③ 盤がまっすぐに取付くように調整しながら下部の2本の取付けネジをねじ込みます。

④ 同様に上部の2本の取付けネジをねじ込みます。

⑤ 最後に上部のだるま孔のネジをしっかりねじ込んで固定します。

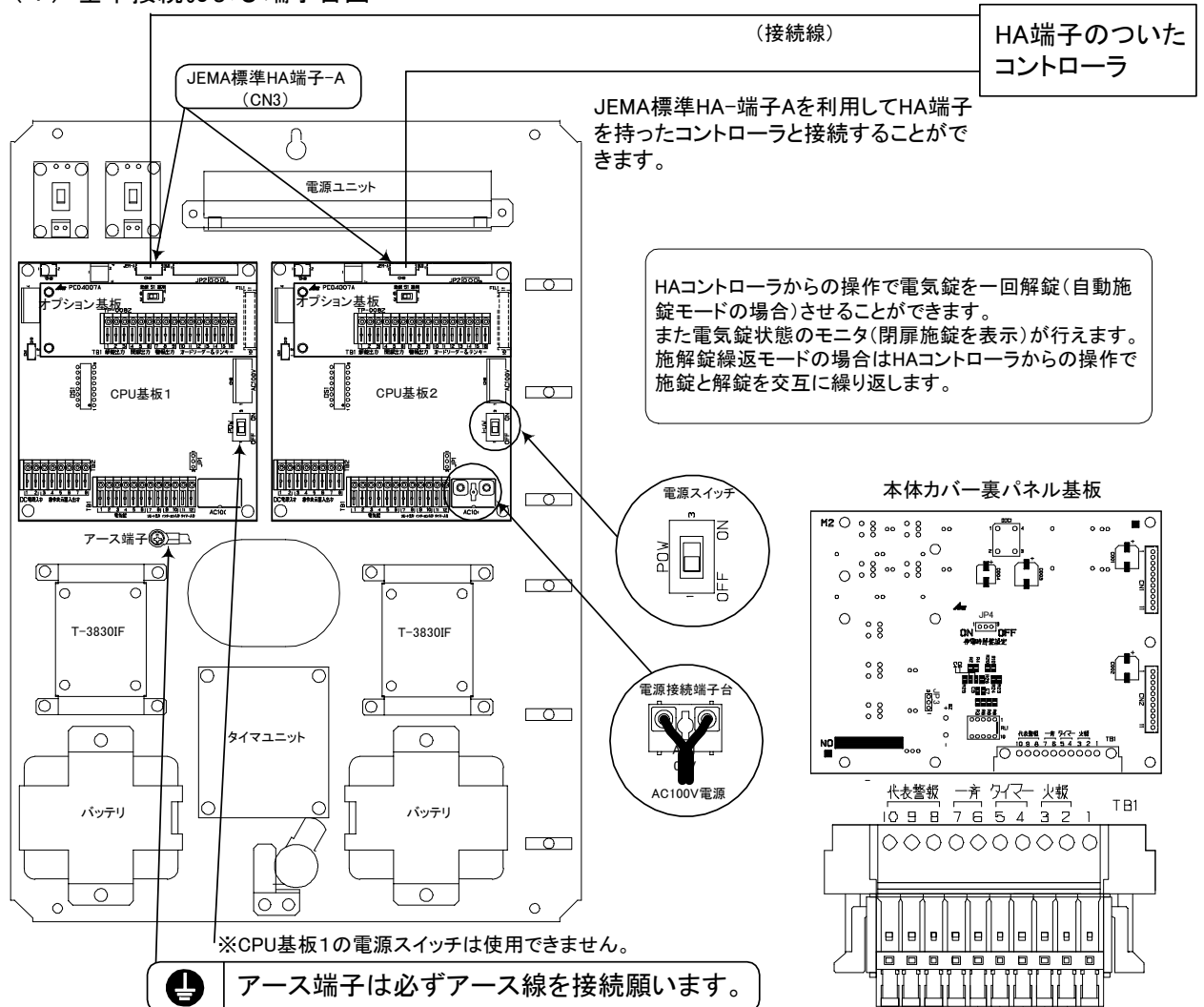
タッピングネジ(ナベ)
4X40 5本

⚠ 注意

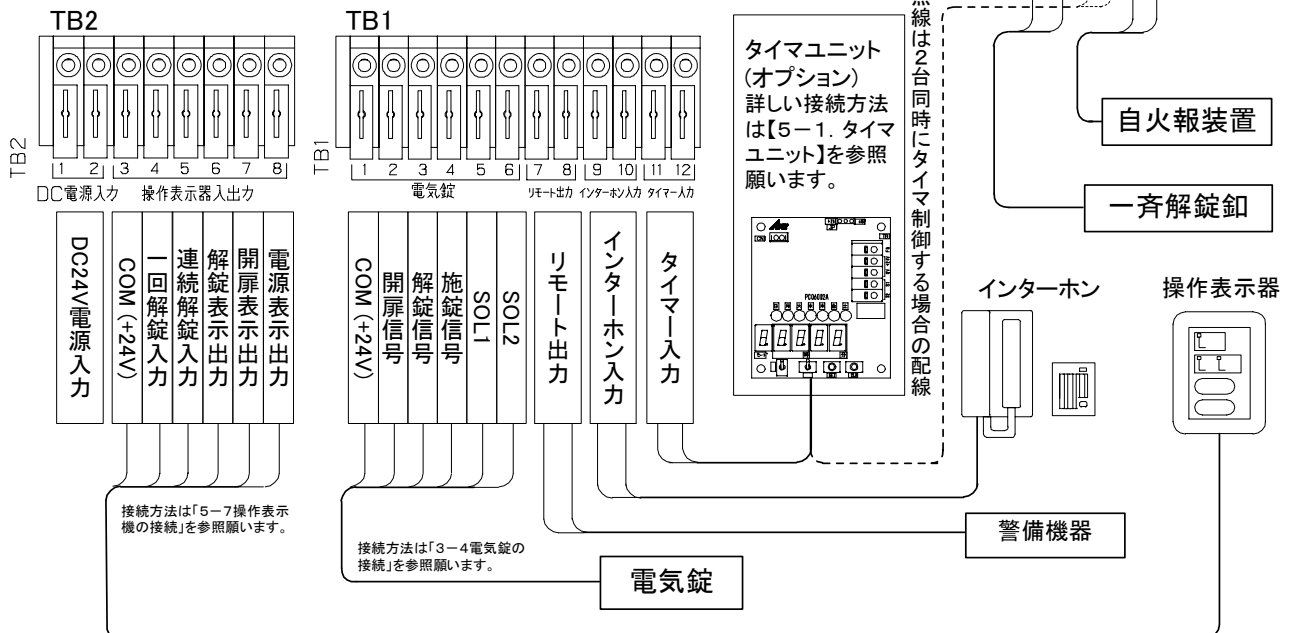
カバーを取り付ける際、電源コードを挟みこまないようご注意ください。

3-3. 電気錠制御盤の接続・結線

(1) 基本接続および端子台図



それぞれの回線に対するCPU基板の端子台に下記のように接続してください。



警告

配線接続は必ず電源スイッチを切った状態で行ってください。

(2) 接続準備

1) 機器間の配線距離

電気錠制御盤と電気錠、電気錠制御盤と端末装置、その他の機器との接続にあたってはCPEV(市中对ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)または同等品をご使用ください。

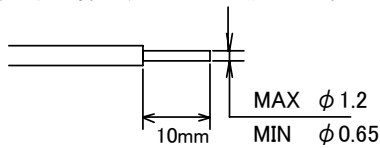
導体径(mm)	0.65	0.9	1.2
機器間の配線距離	100m以内	150m以内	200m以内

※T-3830を接続する場合は導体径に関わらず配線距離は100m以内としてください。

※ピボットヒンジ、センターピボットヒンジを使用する場合必ず通電金具を使用し、配線してください。

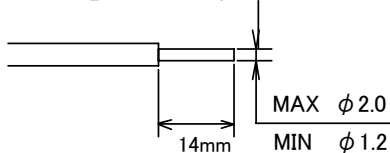
2) むきしろ寸法

●電気錠／操作表示器／通信ライン線



電線はφ0.65～1.2の単線を使用願います。
電線の先端約10ミリの被覆を剥きます。

●AC100V電源／アース線



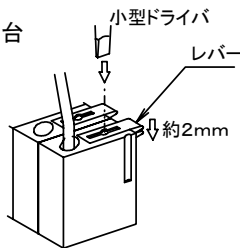
電線はφ1.2～2.0の単線を使用願います。
電線の先端約14ミリの被覆を剥きます。

⚠ 注意

ヨリ線を使用する場合は必ず半田処理をしてください。
時間の経過とともに接触不良の原因となります。

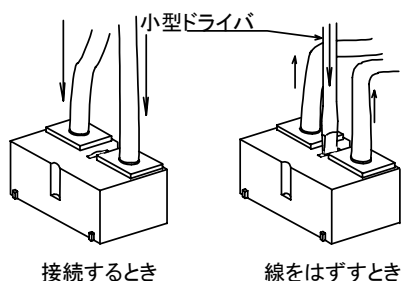
3) 端子台接続の方法

●端子台



- ① 端子台のレバーを小型ドライバなどでロックするまで押し込みます。
- ② 電線を端子台の孔に根元まで確実に差込みます。
- ③ 指先またはドライバでレバーをリリースします。
- ④ 最後に電線を引っ張り、確実に接続されていることを確認します。

●電源接続端子台



- ① 電線を端子台の孔に根元まで確実に挿入します。
 - ② 挿入後、電線を引っ張り、確実に接続されていることを確認します。
- ※電線を外すときは、端子台中央部の溝をドライバで押しながら電線を引き抜きます。

⚠ 警告

感電事故防止のため電源の接続を行う前に該当電源系統のブレーカ及び電気錠制御盤の電源スイッチはOFFにしてください。

3-4. 電気錠の接続

(1) 各社電気錠対応表

以下の電気錠対応表に記載されている電気錠を接続できます。

電気錠タイプ	電気錠種類		
	美和ロック(株)	(株)ゴール	堀商店
瞬時通電施錠型 電気錠(有極)	ALA/ALG50/AUS/ANS	EZS/EXS	6111/6121 6211/6221
瞬時通電施錠型 電気錠(無極)	ALS/AMS		
瞬時通電施錠型 電気ストライク			3110(※2)
モータ式 施錠型電気錠	AL3M/AFF	EM/AHEM/SXE	3401(※3)
通電時解錠型 電気錠	ALT/ALTA/AMT/AMTA AUT(※1)/AUTA(※1)/ ALGT50	EST/ESTP/ELTP/ESB ELT/ELB/ESM/ELM/ EXM/CMT/EUT/EUTP	6110/6120 6210/6220
通電時解錠型 電気ストライク	AST/ASZ		3103/3106
通電時施錠型 電気錠	ALR/ALRA/AMR/AMRA AUR(※1)/AURA(※1) ALGR50	ESR/ELR/ESRP ELRP/CMR/EUR/EURP	6112/6122 6212/6222
通電時施錠型 電気ストライク	ASR		3123
自動扉			

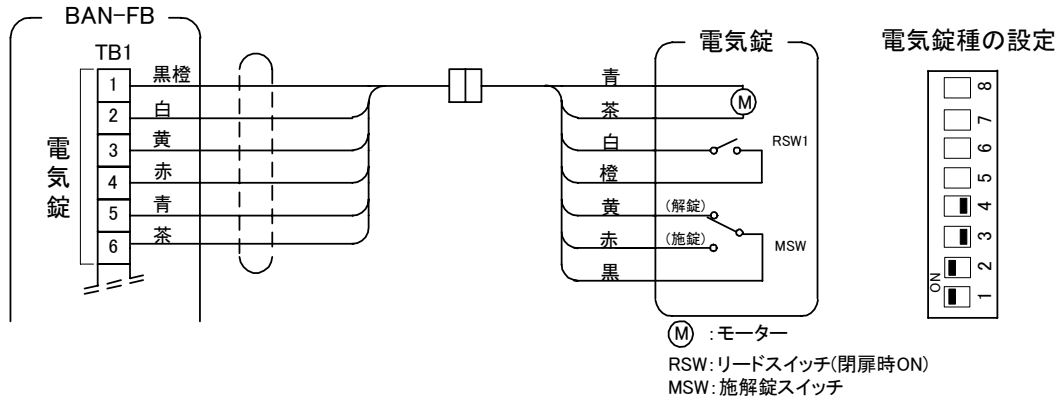
※1 AUT/AUTA/AUR/AURAは同一電気錠のため、錠種の設定をする場合には電気錠側の設定を確認して、設定を行ってください。

※2 3110は電気錠の特性上ゆっくり扉を開くと施錠エラーが発生することがあります。その場合は再度解錠操作を行ってください。

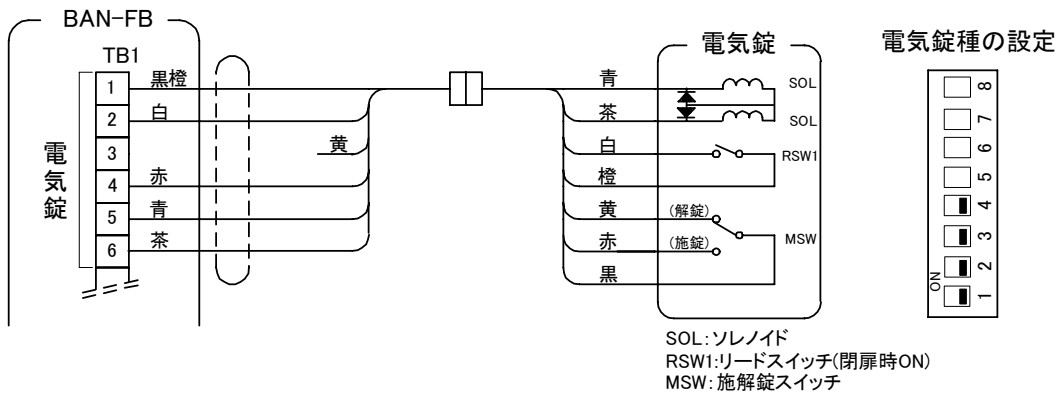
※3 3401はコジアケが発生しませんのでご注意ください。

(2) 美和ロック製電気錠の接続

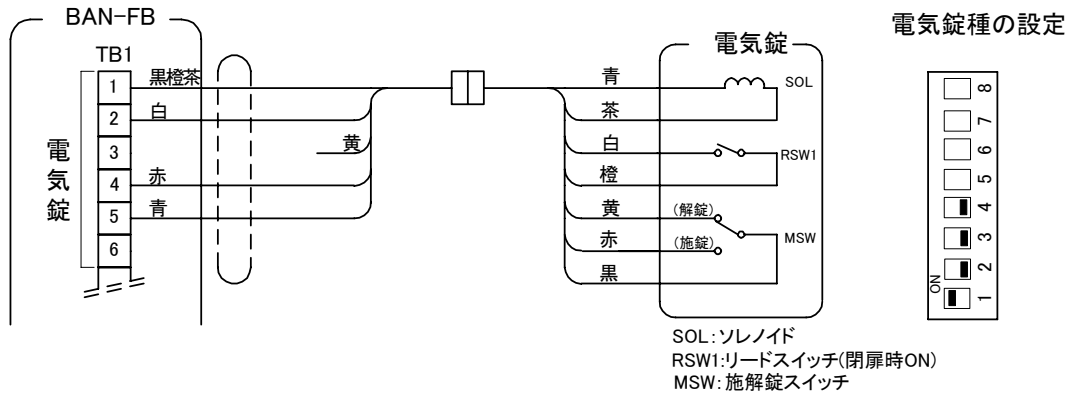
① モーター式施解錠型電気錠 (AL3M,AFF)



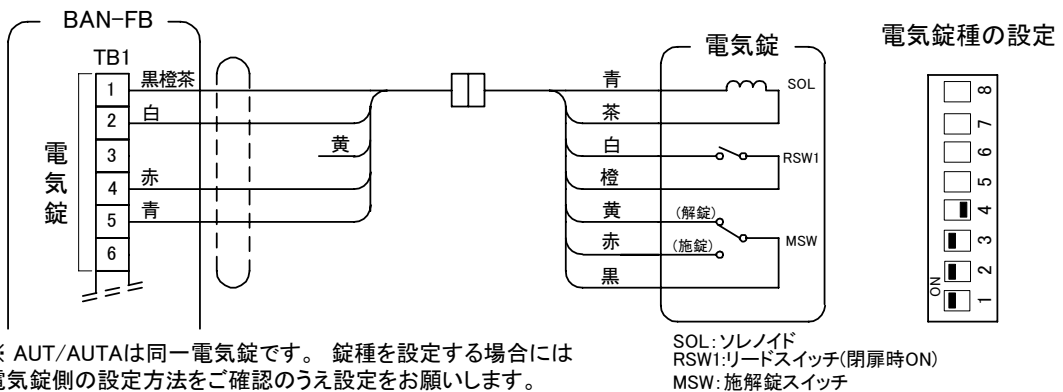
② 瞬時通電施解錠型電気錠[有極] (ALA,ALG50,AUS,ANS)



③ 瞬時通電施解錠型電気錠[無極] (ALS,AMS)

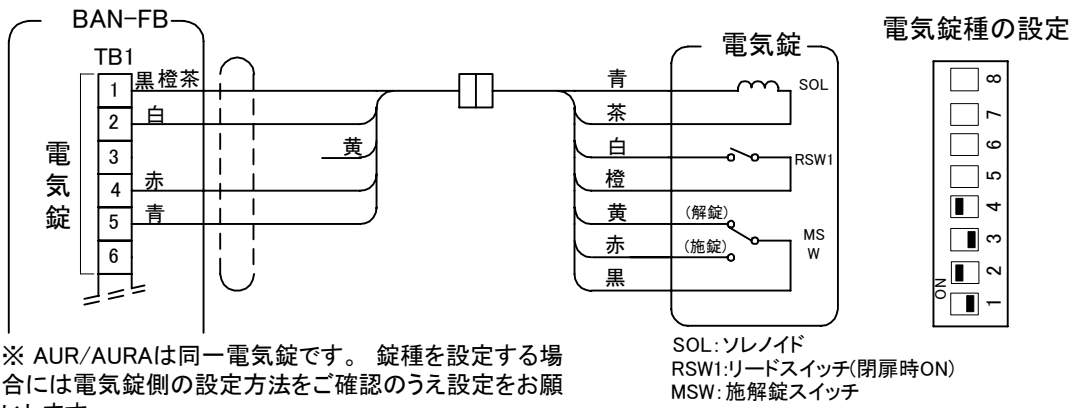


④ 通電時解錠型電気錠 (ALT,ALTA,AMT,AMTA,AUT*,AUTA*,ALGT50)

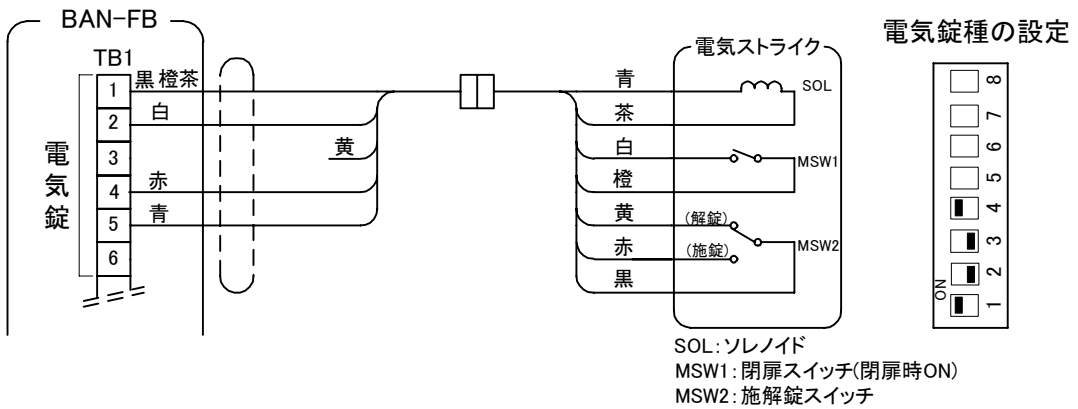


※ AUT/AUTAは同一電気錠です。錠種を設定する場合には電気錠側の設定方法をご確認のうえ設定をお願いします。

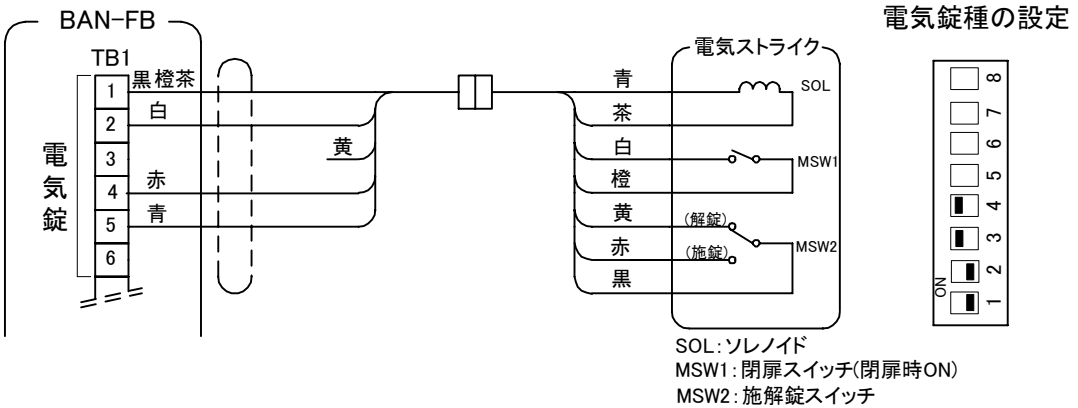
⑤ 通電時施錠型電気錠 (ALR,ALRA,AMR,AMRA,AUR[※],AURA[※],ALGR50)



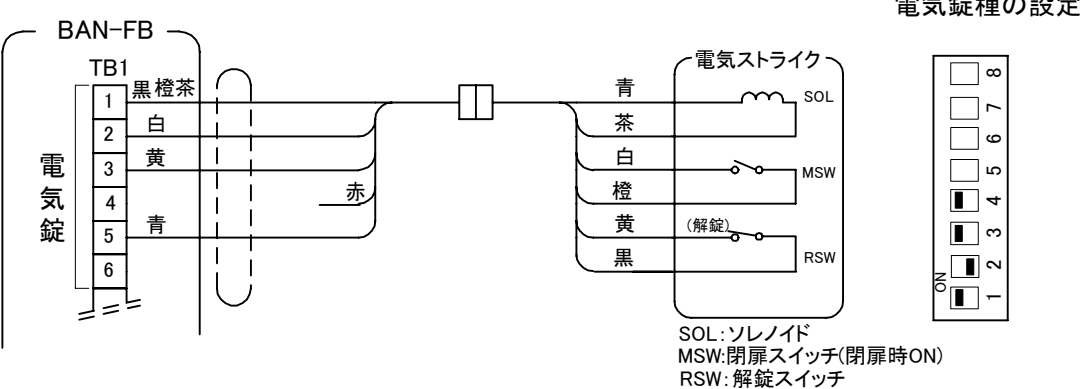
⑥ 通電時解錠型電気ストライク (AST)



⑦ 通電時施錠型電気ストライク (ASR)

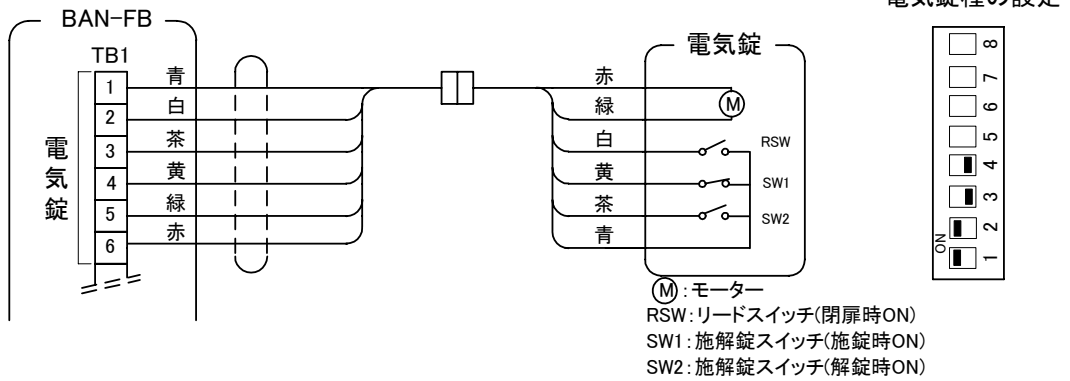


⑧ 通電時解錠型電気ストライク (ASZ)

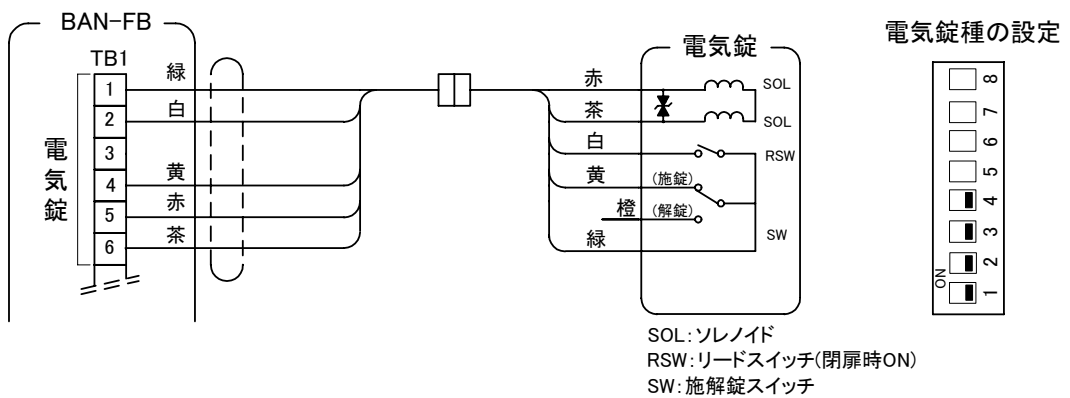


(3) ゴール製電気錠の接続

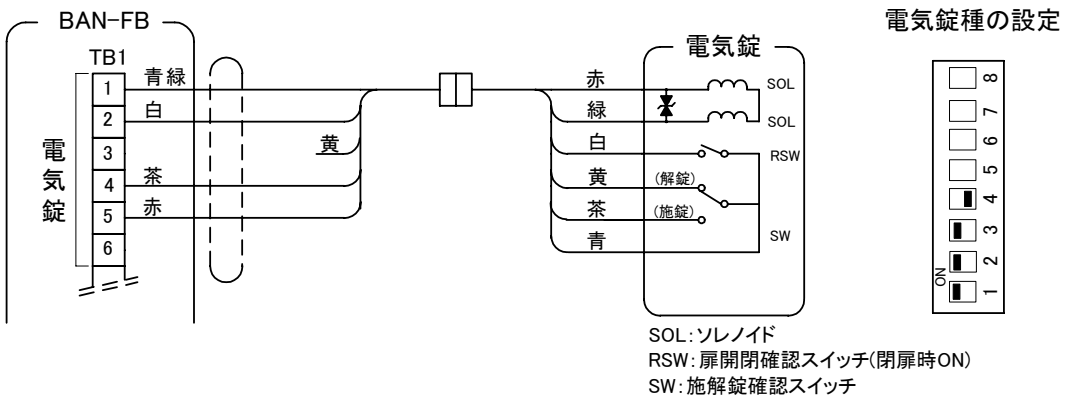
① モーター式施解錠型電気錠 (EM,AHEM,SXE)



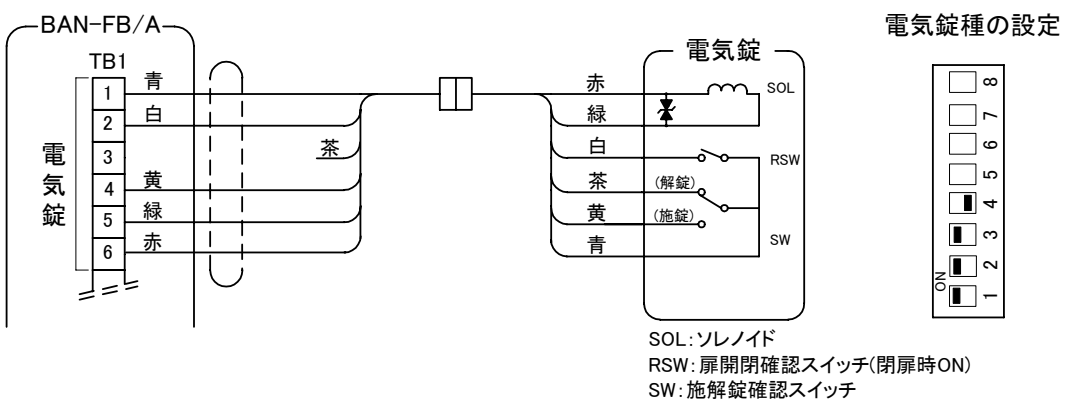
② 瞬時通電施解錠型電気錠[有極] (EZS,EXS)



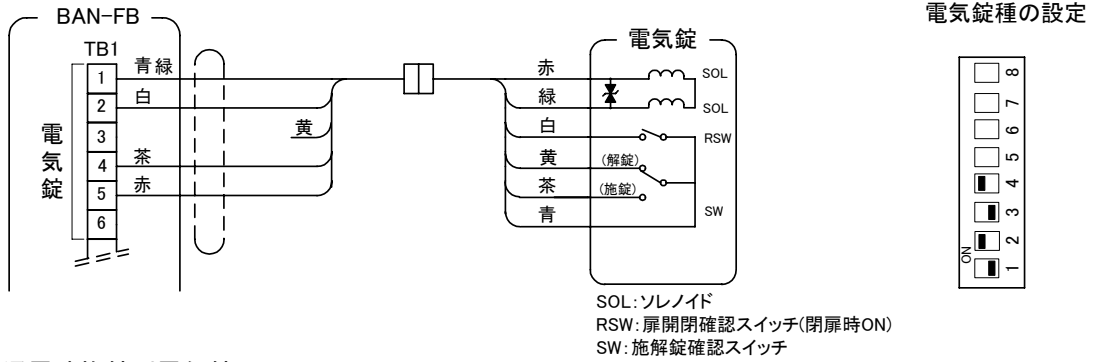
③ 通電時解錠型電気錠 (EST,ESTP,ELTP,ESB,ELT,ELB,ESM,ELM,EXM,CMT)



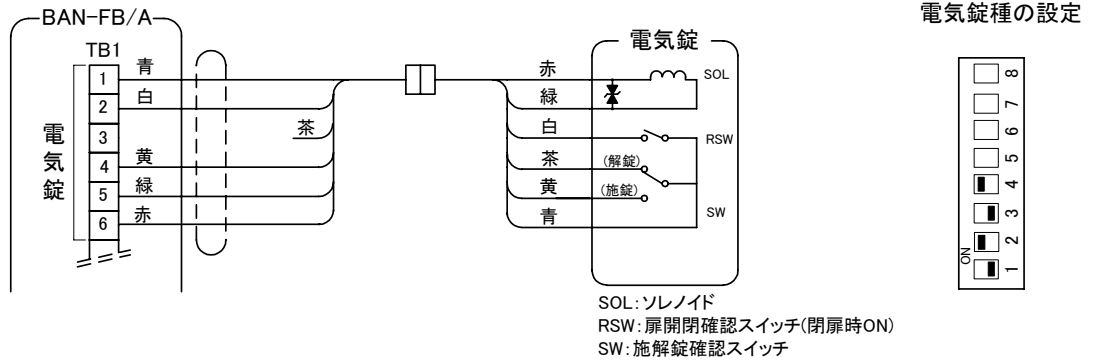
④ 通電時解錠型電気錠 (EUT,EUTP)



⑤ 通電時施錠型電気錠 (ESR,ELR,ESRP,ELRP,CMR)

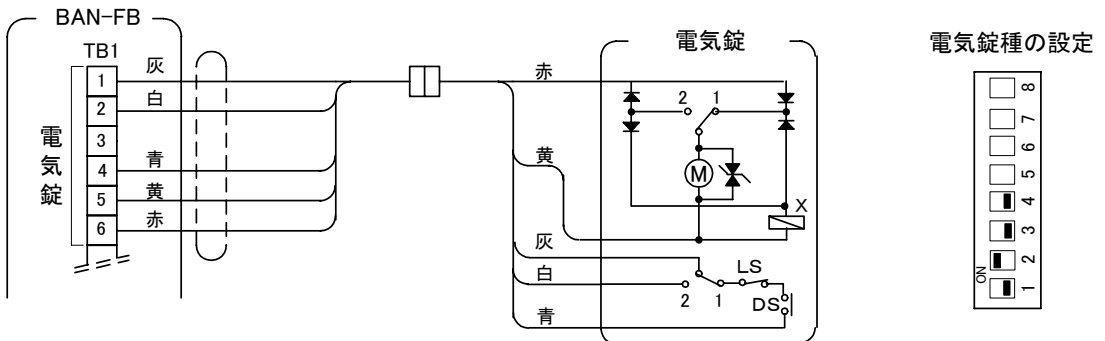


⑥ 通電時施錠型電気錠 (EUR,EURP)



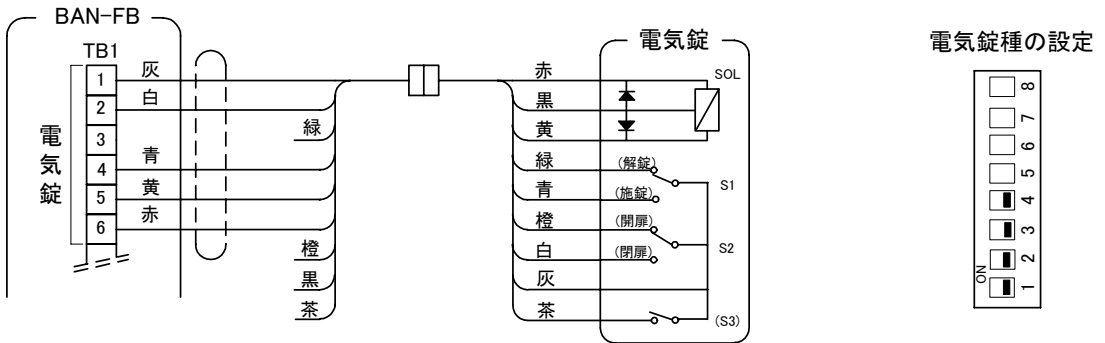
(4) 掘商店製電気錠の接続

① モーター式施解錠型電気錠 (No.3401)



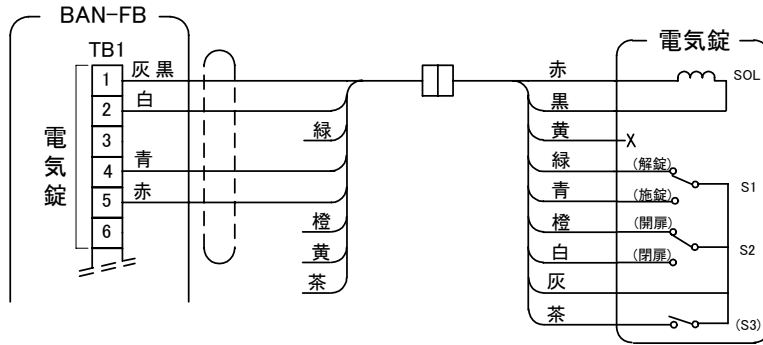
※3401はコジヤケが発生しませんのでご注意ください。

② 瞬時通電施解錠型電気錠[有極] (No.6111, No.6121, No.6211, No.6221)



※電気錠のフロント装置はNの位置で運用してください。

③ 通電時解錠型電気錠 (No.6110, No.6120, No.6210, No.6220)



電気錠種の設定

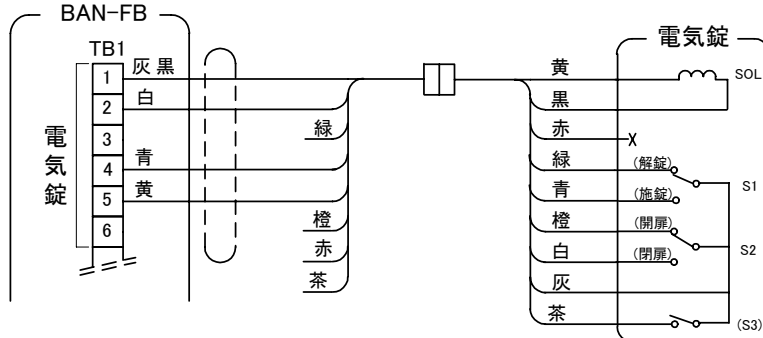


※電気錠のフロント装置はLの位置で運用してください。

SOL:ソレノイド
S1: 施解錠確認スイッチ
S2: 扉開閉確認スイッチ

(S3): 非常解錠確認スイッチ
(No.6110, No.6120のみ)
本電気錠制御盤ではS3回路は使用しません。

④ 通電時施錠型電気錠 (No.6112, No.6122, No.6212, No.6222)



電気錠種の設定

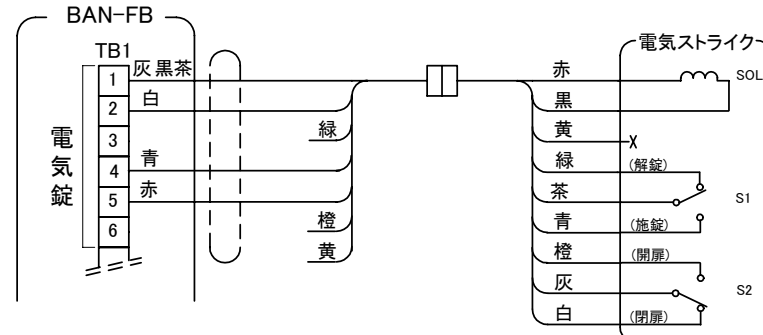


※電気錠のフロント装置はULの位置で運用してください。

SOL:ソレノイド
S1: 施解錠確認スイッチ
S2: 扉開閉確認スイッチ

(S3): 非常解錠確認スイッチ
(No.6112, No.6122のみ)
本電気錠制御盤ではS3回路は使用しません。

⑤ 通電時解錠型電気ストライク (No.3103)

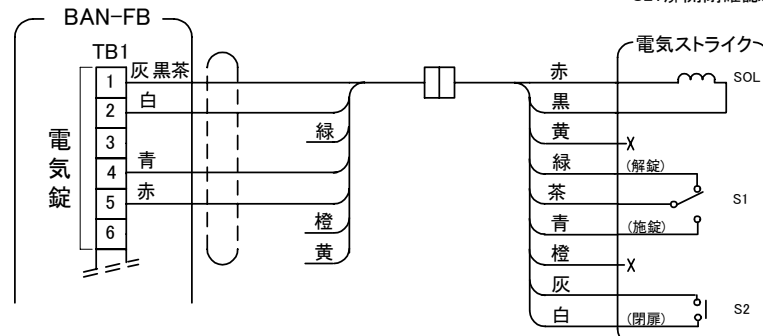


電気錠種の設定



SOL:ソレノイド
S1: 施解錠確認スイッチ
S2: 扉開閉確認スイッチ

⑥ 通電時解錠型電気ストライク (No.3106)

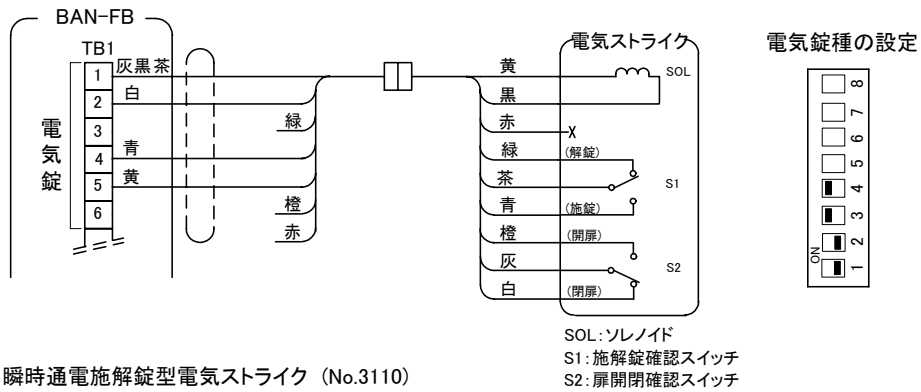


電気錠種の設定

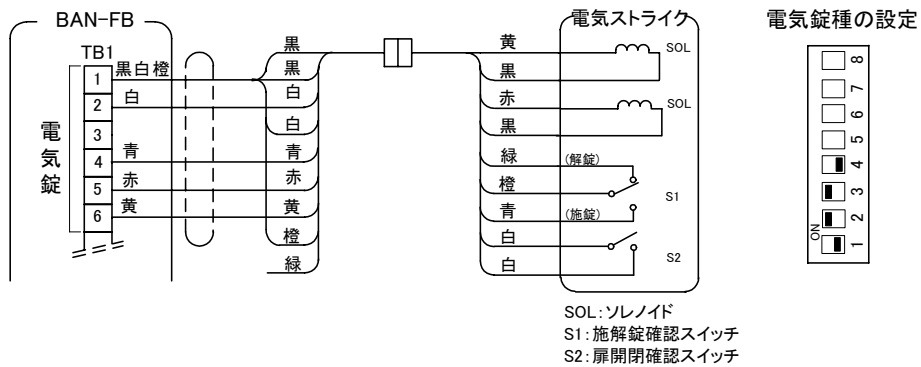


SOL:ソレノイド
S1: 施解錠確認スイッチ
S2: 扉開閉確認スイッチ

⑦ 通電時施錠型電気ストライク (No.3123)



⑧ 瞬時通電施錠型電気ストライク (No.3110)

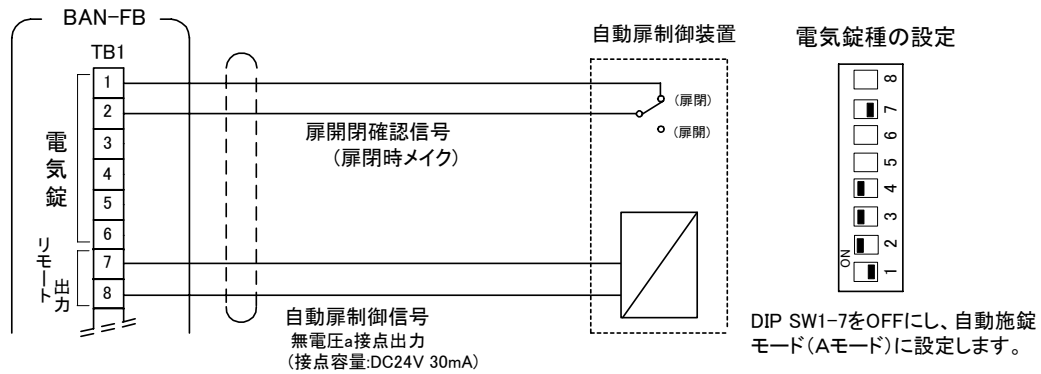


※3110は電気錠の特性上ゆっくり扉を開くと施錠エラーが発生することがあります。
その場合は再度解錠操作を行ってください。

(5) 自動扉の接続

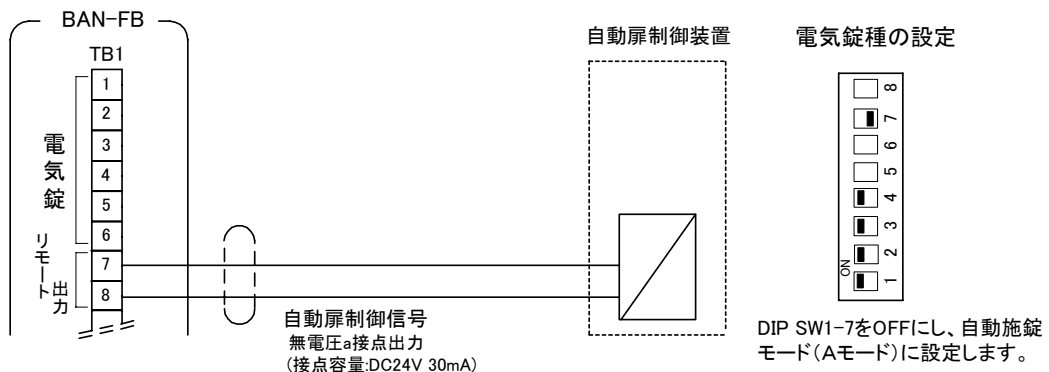
① 自動扉接続(扉閉信号入力時)

自動扉が開くと電気錠制御盤の開扉表示灯が点灯します。



② 自動扉接続(扉閉入力なし)

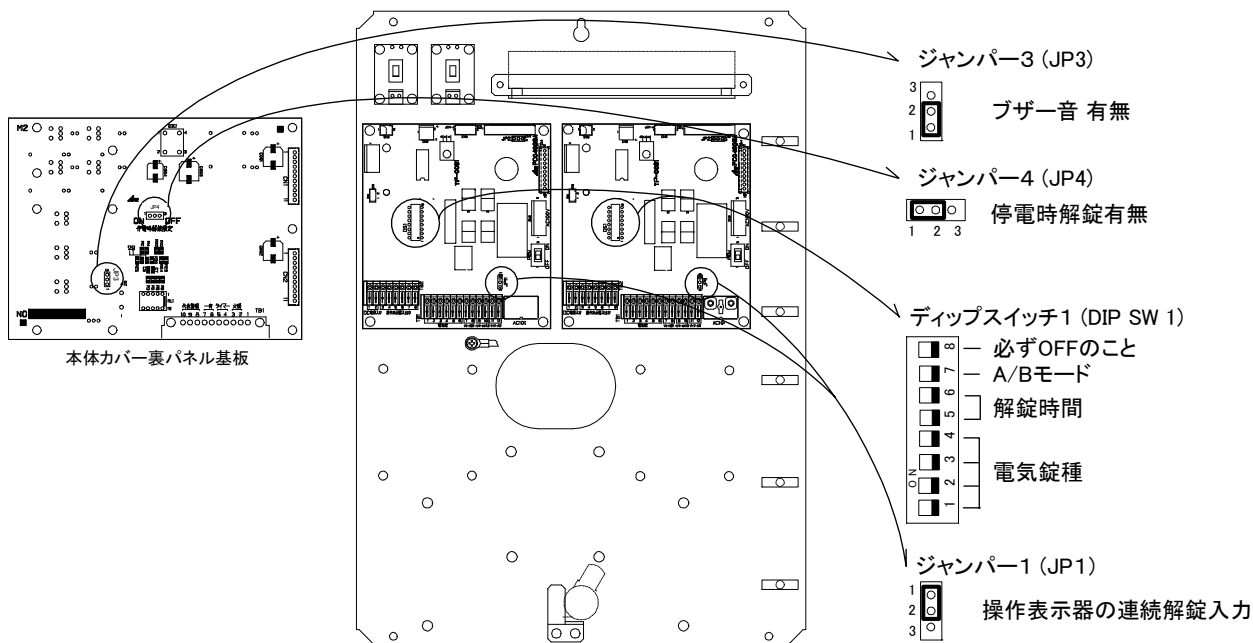
自動扉の開閉状態を電気錠制御盤では確認できません。



電気錠制御盤の設定

解錠時間、ブザー音有無、停電時解錠有無、電気錠種、動作モード、連続解錠入力の設定を盤内のディップスイッチ (DIP SW), ジャンパーピン (JP) により変更できます。

設定の変更は電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

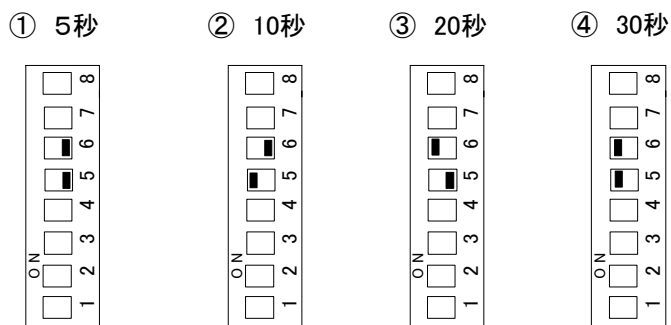


(6) 解錠時間の設定

電気錠を解錠し、扉の開閉を行わない場合、自動的に施錠するまでの解錠時間を設定します。

ディップスイッチ 1 (DIP SW1) の 5・6 を以下のように設定します。

(回線ごとにそれぞれのCPU基板で設定してください)。



(7) ブザー音有無の設定

警報発生時に鳴動するブザー音の有無を設定します。パネル基板のジャンパー 3 (JP3) を抜き、以下の位置に挿し込みます。

ジャンパー 3 (JP3)

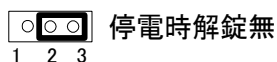
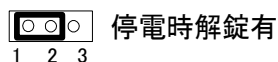


(8) 停電時解錠有無の設定

停電発生と同時に電気錠を解錠させることができます（2回線共解錠します）。

パネル基板のジャンパー4（JP4）を以下の位置に挿し込みます。

ジャンパー4（JP4）



※通電時解錠型の電気錠は解錠できません。

※この設定にはバッテリー（オプション）の組込みが必要となります。

※バッテリー接続は【5-3. バッテリー BAN-F01B・F02B BATT】を参照してください。

(9) A/Bモードの設定

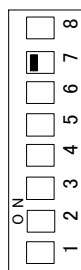
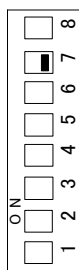
運用に合わせて、Aモード（自動施錠モード）、Bモード（施解錠くり返しモード）

どちらかの動作モードに設定します。

ディップスイッチ（DIP SW1）の7のON/OFFを切り替えることにより以下の設定になります。

Aモード

Bモード



※自動扉に接続する場合はAモードに設定します。

(10) 連続解錠入力の設定

連続解錠ボタンのある操作表示器を接続する際に設定します。

ジャンパー1（JP1）を抜き、以下の位置に挿し込みます。

（回線ごとにそれぞれのCPU基板で設定してください）。

ジャンパー1（JP1）



4. 動作テスト（本体）

以下のチェックポイントを確認してください、正常に動作しない場合は正しく配線されているか、設定は正しいか、扉のたてつけに問題が無いか確認してください。

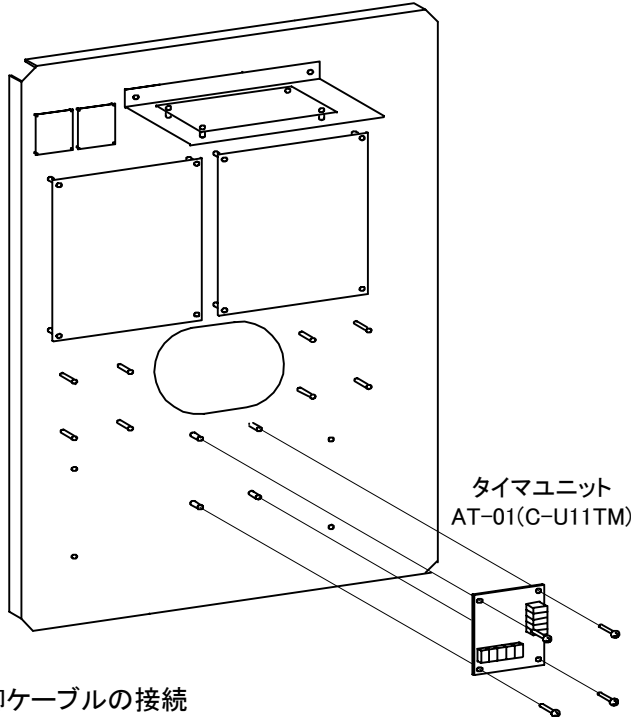
操作	チェックポイント	<input checked="" type="checkbox"/>
電源		
1. 電源スイッチをONにします。	①電源表示灯が点灯する	<input type="checkbox"/>
Aモード		
1. 電気錠制御盤の一回解錠ボタンを押します。	①解錠表示灯が点滅をする ②電気錠が解錠する ③設定した時間解錠している ④電気錠が施錠する ⑤解錠表示灯が消灯する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2. 再度一回解錠ボタンを押し、扉を開けます。	①開扉表示灯が点灯する ②30秒間扉を開けた時に警報が発生する ③警報表示灯が点灯する ④ブザー音が鳴動する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3. 扉を閉めます。	①開扉表示灯が消灯する ②警報表示灯が消灯する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4. 電気錠制御盤の連続解錠ボタンを押します。	①解錠表示灯が点灯する ②電気錠が解錠する ③扉を開閉しても解錠を保持する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
Bモード		
1. 電気錠制御盤の解錠ボタンを押します。	①解錠表示灯が点灯する ②電気錠が解錠する ③扉を閉めても解錠を保持する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2. 電気錠制御盤の施錠ボタンを押します。	①解錠表示灯が消灯する ②電気錠が施錠する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
一斉解錠		
1. 一斉解錠ボタンを押します。	①一斉解錠表示灯が点灯する ②2台の電気錠が解錠する ③解錠表示灯が2つ共点灯する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2. 再度一斉解錠ボタンを押します。	①一斉解錠表示灯が消灯する ②2台の電気錠が施錠する ③解錠表示灯が2つ共消灯する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
非常リセット		
1. パネル基板の火報入力端子をメイクします。 ※火報装置と連動する場合に確認します。	①非常解錠表示灯が点灯する ②2台の電気錠が解錠する ③ブザー音が鳴動する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2. 火報入力端子をブレイクし、非常リセットボタンを押します。	①非常解錠表示灯が消灯する ②2台の電気錠が火報入力が入る前の状態に戻る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

5. 施工 (オプション)

5-1. タイマユニット AT-01(C-U11TM)

(1) 取付・接続

以下の手順に従い、取付・接続を行ってください。

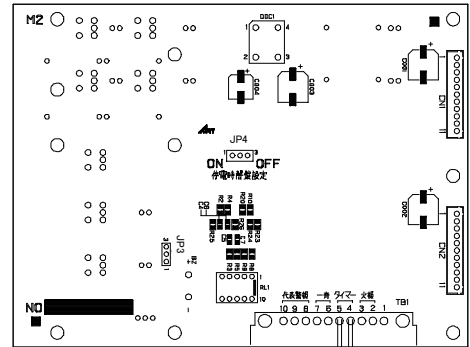


⚠ 注意

タイマユニット基板取り付けは必ず電源を切って行ってください。

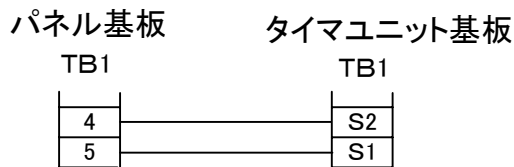
- ① タイマユニット基板の取り付け
取り付けビス4本で制御盤の所定の位置に固定願います。

本体カバー裏パネル基板

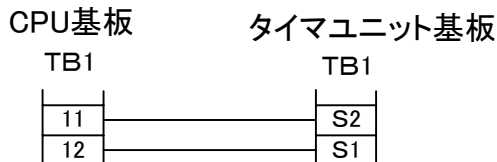


② 制御ケーブルの接続

2台の電気錠を同時に制御する場合
パネル基板のTB1 4, 5番端子とタイマユニット基板の端子台S1, S2番端子を付属のケーブルで接続して下さい。(極性はありません。)

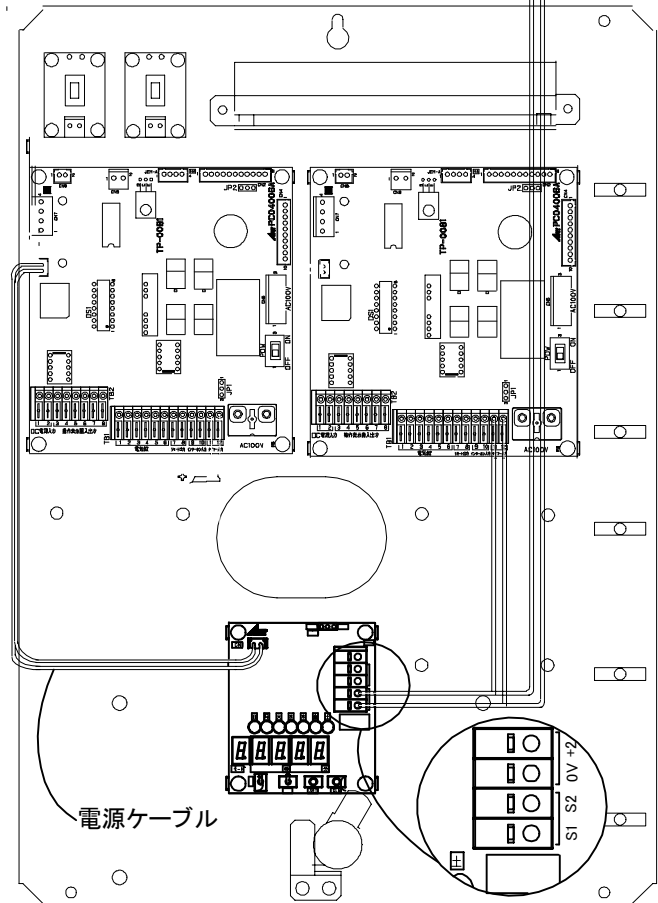
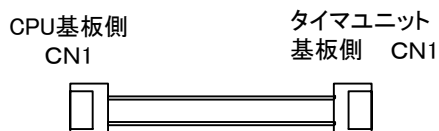


どちらか一方の電気錠だけを制御する場合
該当するCPU基板のTB1 11, 12番端子とタイマユニット基板の端子台S1, S2番端子を付属のケーブルで接続して下さい。(極性はありません。)



③ 電源ケーブルの接続

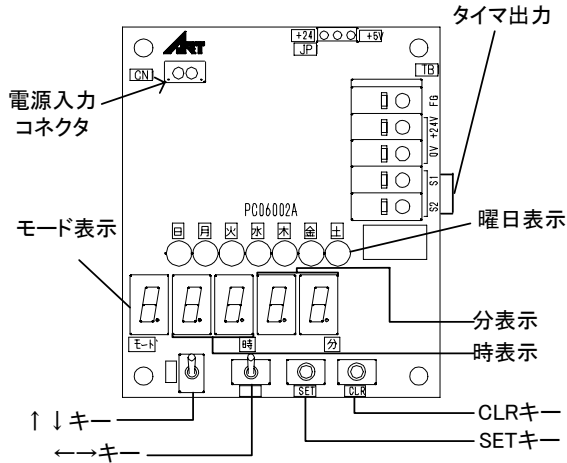
タイマユニットに付属の電源ケーブルでタイマユニット基板のCN1と本体側CPU基板のCN1を接続します。



(2) 設定

タイマユニット側のボタンで操作します。
電気錠制御盤の電源スイッチが、ONになっていることを確かめてから設定を行います。

1) タイマユニット配置図



2) モードの切り替え

タイマのモードには以下の3種類があります。
モードの切り替えは[↑][↓]キーを操作して行います。

モード	表示	機能
AUTO	H	現在時刻を表示する通常表示です。
TIME	t	時刻と曜日を設定します。
PROGRAM	P	解錠/施錠の時刻を設定します。

3) 現在の時刻と曜日の設定

- ① [↑][↓]キーを操作して"t"を表示させます。
"t"表示が点滅します。
 - ② [SET]キーを約3秒押し[TIME]モードにします。
"t"表示が点灯に変わり、「時刻」表示が点滅します。
- [←][→]キーを操作して「時, 分, 曜日」を選択することができます。点滅表示している桁が選択された桁です。
- ③ [←][→]キーを操作して「時」を選択して[↑][↓]キーで「時刻」を合わせます。
 - ④ 時刻を合わせたら[←][→]キーを操作して「分」を選択して[↑][↓]キーで「分」を合わせます。
 - ⑤ 分を合わせたら[←][→]キーを操作して「曜日」を選択して[↑][↓]キーで「曜日」を合わせます。
 - ⑥ 「SET」キーを押すと"t"が点滅に変わって時間、分、曜日の設定が確定し、LEDのドットが点滅します。
 - ⑦ [CLR]キーを押すと表示が"H"に変わります。
これで現在時刻と曜日の設定が完了します。

4) 解錠時間/施錠時間の設定

曜日ごとの解錠/施錠の時間をそれぞれ3つまで設定できます。(7曜日×3種時間帯、最大21時間帯)

- ① [↑][↓]キーを操作して“P”を表示させます。
“P”表示が点滅します。
- ② [SET]キーを3秒以上押して[PROGRAM]モードにします。
“5”と“/”が交互に表示され、解錠時間(S1)の設定モードになります。
- ③ [←][→]キーを操作して「曜日」を合わせます。
- ④ [SET]キーを押します。
“5”表示が点灯し「曜日」の設定が確定します。
次に解錠時間を設定します。
- ⑤ [←][→]キーを操作して「時,分」それぞれの桁を選択します。
点滅表示している桁が選択された桁です。
- ⑥ [↑][↓]キーを操作して「時刻」および「分」を設定します。
- ⑦ [SET]キーを押すと該当曜日の解錠時間(S1)が確定します。
- ⑧ 解錠時間(S1)確定の後、[↑]キーを操作してください。“E”と“/”が交互に表示され、施錠時間(E1)の設定モードになります。
- ⑨ [←][→]キーを操作して「曜日」を合わせます。
- ⑩ [SET]キーを押します。
“E”表示が点灯し「曜日」の設定が確定します。
次に解錠時間を設定します。
- ⑪ [←][→]キーを操作して「時,分」それぞれの桁を選択します。
点滅表示している桁が選択された桁です。
- ⑫ [↑][↓]キーを操作して「時刻」および「分」を設定します。
- ⑬ [SET]キーを押すと該当曜日の施錠時間(E1)が確定します。
- ⑭ 同様に、解錠時間2として(S2)、施錠時間2として(E2)、解錠時間3として(S3)、施錠時間3として(E3)を設定することができます。
[↑][↓]キーを操作して“5/2”“E/2”“5/3”“E/3”を選択して「時,分」を設定することができます。
- ⑮ [CLR]キーを押すと表示が“H”に変わります。
これで解錠/施錠時刻の設定が完了しました。
現在時刻を表示する通常表示となります。

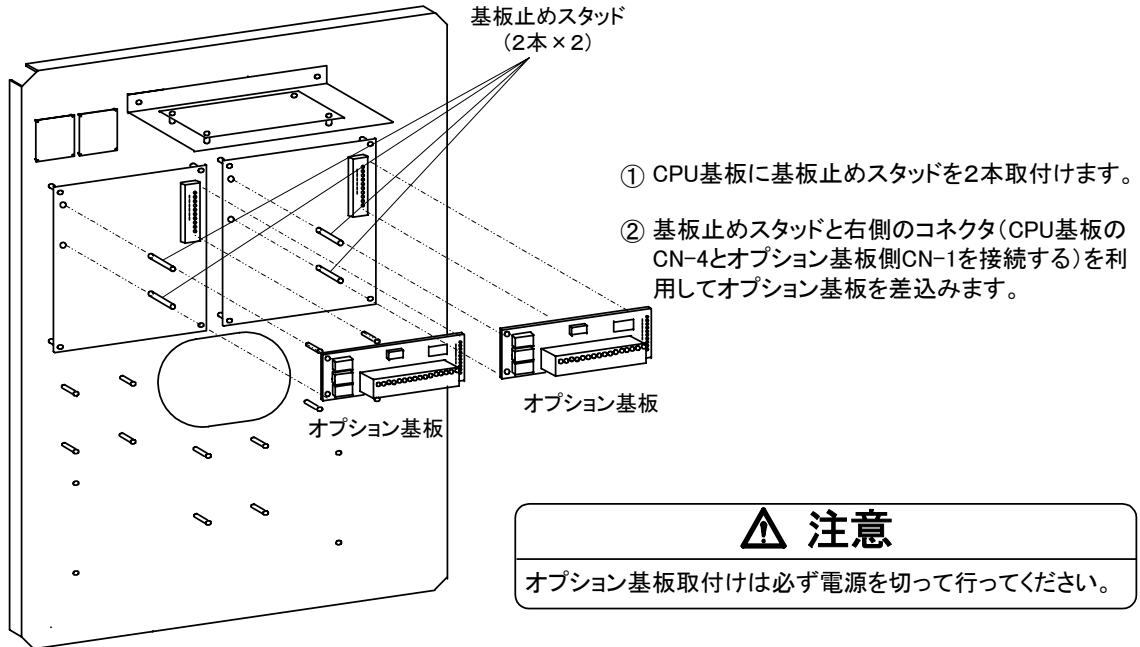
5) 設定時間の確認

- ① [↑][↓]キーを押して“P”を表示させます。
“P”表示が点滅します。
- ② [SET]キーを3秒以上押して[PROGRAM]モードに入ります。
- ③ [←][→]キーで日～土曜日を選択し[↑][↓]キーで“5/1”から“E/3”を確認します。
現在設定されている各曜日ごとの解錠/施錠時間が確認できます。
- ④ [CLR]キーを押して[PROGRAM]モードから通常表示のモードに切替えます。

5-2. オプション基板 BAN-F01B・02B0P

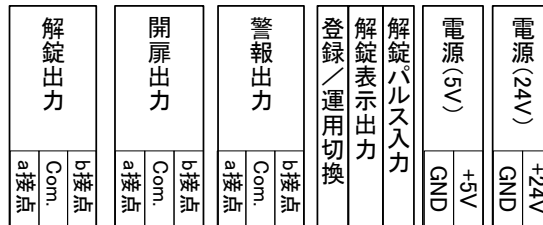
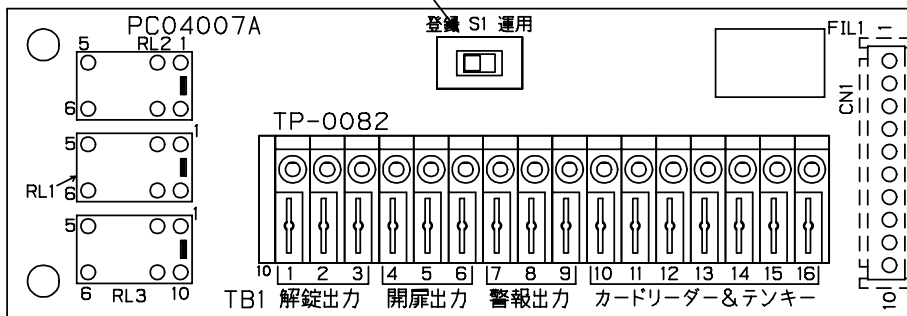
(1) 取付・接続

以下の手順に従い、取付けを行ってください。



登録／運用スイッチ

オプションの磁気カードリーダー(R-2710)または指紋照合リーダー(F-7140)を使用する際の照合データ登録時に使用します。

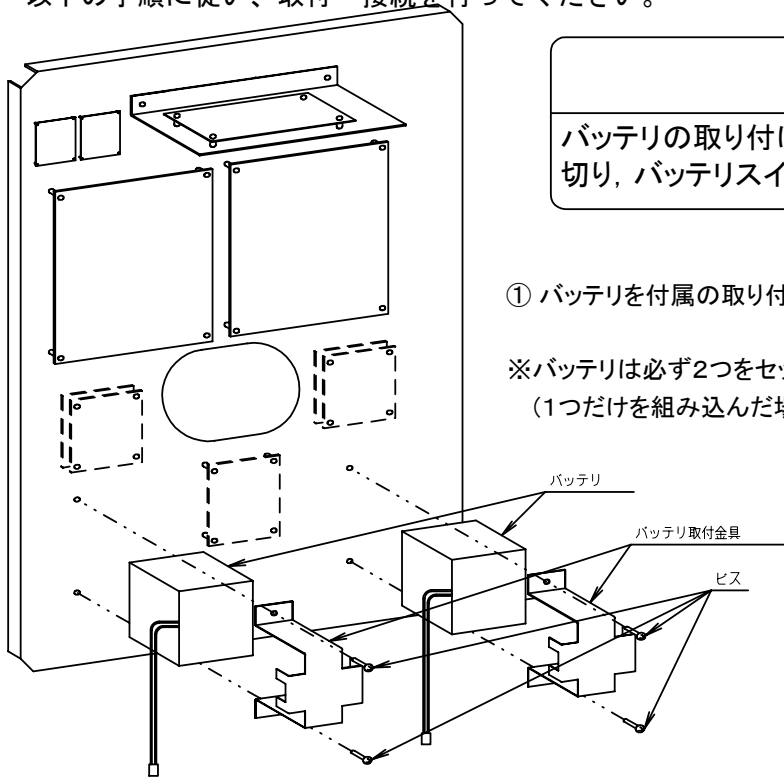


▶ 端末機器へ

5-3. バッテリー BAN-F01B・F02B BATT (BAN-FB用バッテリー)

(1) 取付・接続

以下の手順に従い、取付・接続を行ってください。



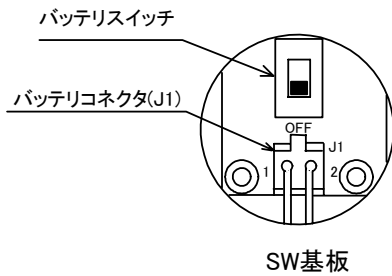
⚠ 警告

バッテリーの取り付け、接続および交換作業は電源を切り、バッテリースイッチをOFFにして行ってください。

- ① バッテリーを付属の取り付け金具と取り付けビスで固定します。

※バッテリーは必ず2つをセットで組み込むようお願い致します。
(1つだけを組み込んだ場合、正しく動作しない可能性があります。)

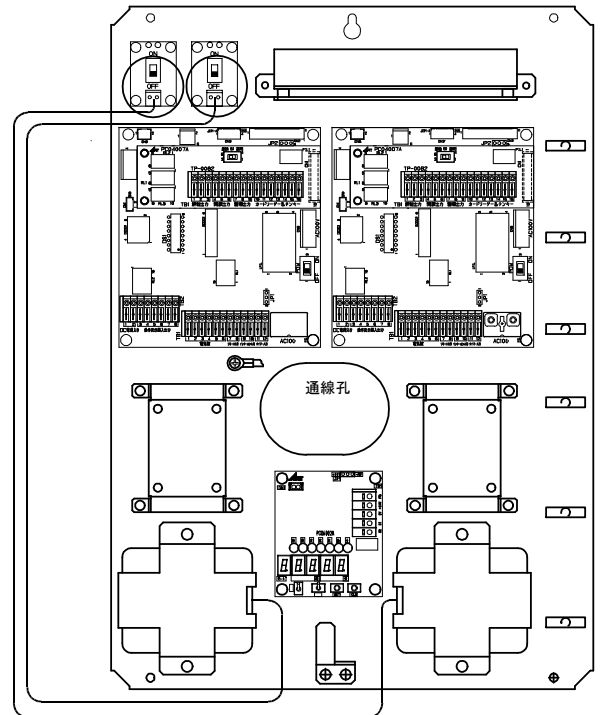
- ② バッテリーのコネクタをSW基板のJ1に差し込みます。
(このときSW基板のバッテリースイッチがOFFになっていることを確認願います。)



- ③ 正しく接続されていることを確認し、バッテリースイッチをONにしてください。

- ④ 停電時バッテリーにより30分間動作します。
設置後、AC電源を落としておくような場合はバッテリーの放電を防止するためバッテリースイッチをOFFにしておいてください。

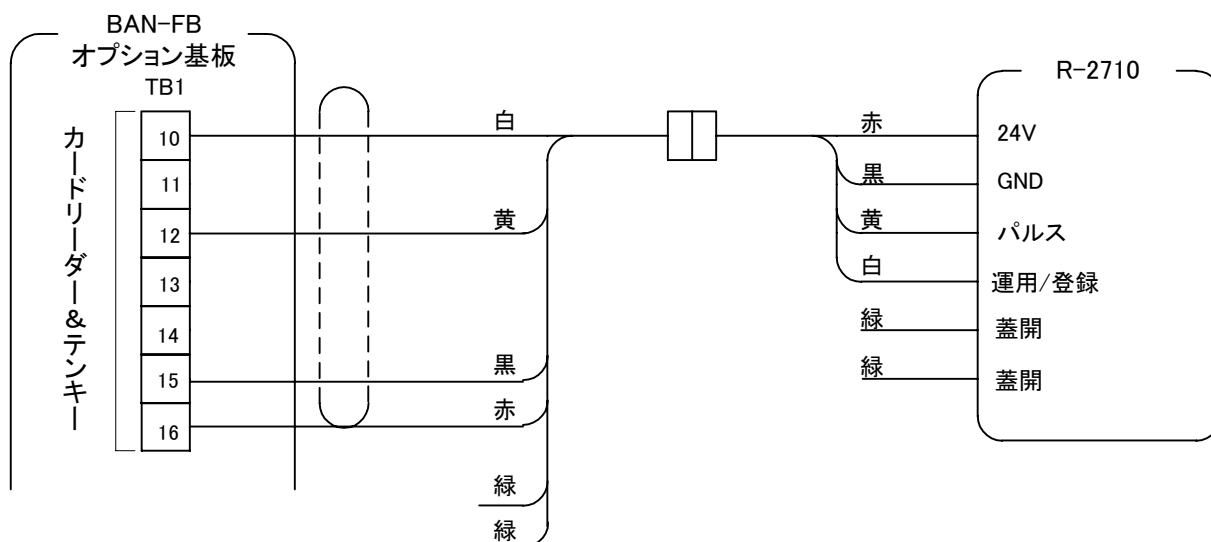
運用を開始する際にバッテリースイッチをONにすることを忘れないようご注意ください(バッテリースイッチがOFFの場合、停電補償は機能いたしません)。



5-4. 磁気式カードリーダー R-2710

(1) 接続

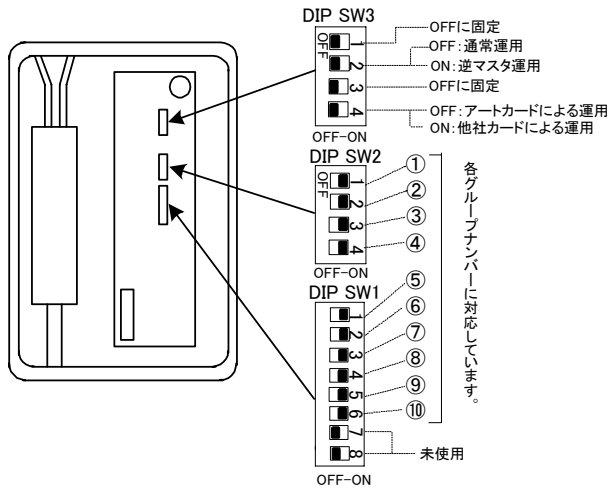
オプション基板に磁気式カードリーダーR-2710を以下のように接続します。



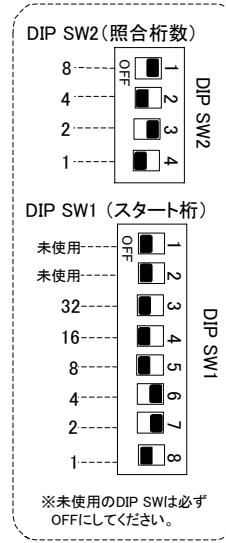
(2) 設定

1) R-2710 DIP・SW 内部配置図

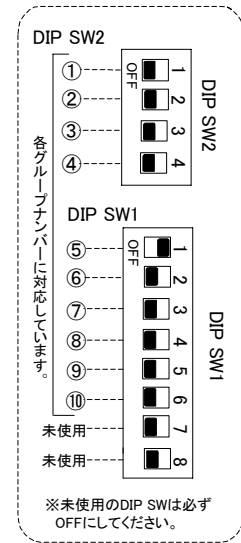
R-2710 を使用する際はオプション基板が必要です。



図A: 設定および配置



図B: 他社カード



図C: ART標準カード

登録方法

2) カード登録 (ART標準磁気カード)

- ① オプション基板の登録・運用スイッチを「登録」にします。(工事点様用/お客様用取扱説明書5-2の項を参照)
※登録は管理カードにて行います。(10グループまで登録可能) 管理カードはリーダ毎の発行となります。
- ② 登録の際、カードリーダ(R-2710)基板のDIP SWを図Aのように設定します。
(管理カードに登録されている全てのグループが有効になります。)
- ③ 管理カード又は、登録したい一般カードをリーダにスライドさせます。スライド後、登録音が最後に「ピー」と鳴り、止まったら登録完了です。
- ④ オプション基板の登録・運用スイッチを「運用」にして終了となります。

3) カード登録 (他社カードの場合)

- ※1グループのみ登録可能、登録は管理カードにて行います、管理カードはリーダ毎の発行となります。
- ※カナ文字の入ったカードは登録できません。
- ※カードに関する照合データが分からないときは、カード情報を提供して頂ければ当社にて確認致します。
- カード情報が不明の場合は、カード製造元の会社へお問い合わせください。

- ① オプション基板の登録・運用スイッチを「登録」にします。
- ② 登録の際、照合データのスタート桁をDIP・SW1、照合桁数をDIP SW2にて設定します。
スタート桁の設定例 設定したい桁数から2を引いた数値を登録します。(図B参照)
スタート桁が8桁の場合は2ビットの6つまりDIP SW1の6・7番をONにします。
照合桁数の設定例 照合桁数が10桁の場合は2ビットの10つまりDIP SW2の1・3番をONにします。
- ③ 2)の③~④の手順に従い登録操作を終了させます。

抹消方法

4) 個別抹消 (ARTカード使用時)

管理カードにて10グループ登録されている場合、各グループごとの抹消が可能です。

- ①管理カードにて10グループ登録されている場合、上記 図Cよりリーダ基板に実装されているDIP SWの対応するグループ番号をOFFにすることにより抹消することができます。
図Cにおいては⑤グループが一時的に抹消されている状態です。
(実際にはメモリーから抹消はされていないため、DIP SWをもとに戻すと、再度使用可能になります。)

5) 全抹消 (データの書き換え)

※メモリーからのデータの全抹消はできません。

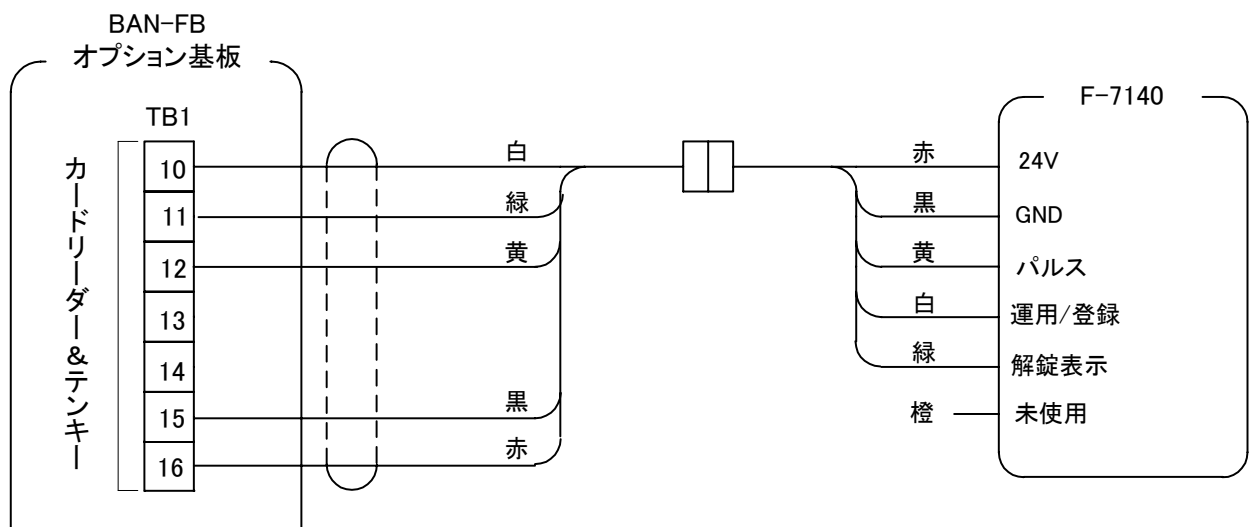
新しいカードデータの書き換えによって旧データの全抹消を行います。

- ①オプション基板の登録・運用スイッチを「登録」にします。
- ②ARTカード使用時、新しい管理カードをリーダに通します。
(リーダのDIP SW1・2がオールONであるか確認します。)
- ③登録音が止まれば書き換え完了です。
- ④オプション基板の登録・運用スイッチを「運用」にして終了となります。
※他社カードにおける書き換えも3)の①～③を参照して、5)の①～④の手順に従います。

5-5. 指紋照合式リーダー F-7140

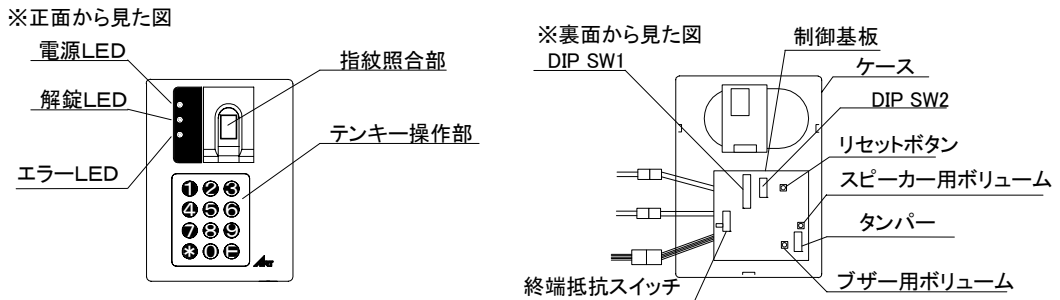
(1) 接続

オプション基板と指紋照合式リーダーF-7140を以下のように接続します。



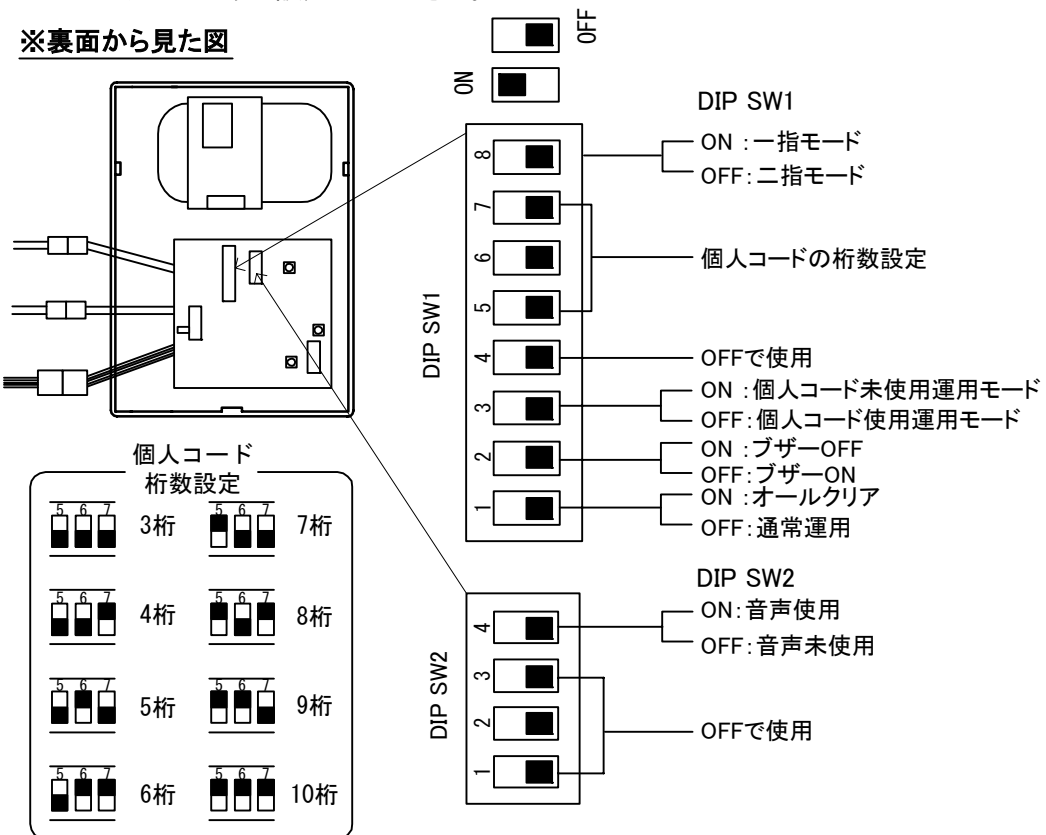
(2) 指紋照合式リーダ F-7140の設定

1) 指紋照合式リーダ配置



2) ディップスイッチ(DIP SW)の設定

DIP SWは以下のように設定してください。



出荷時のDIP SW設定

DIP SW1	すべてOFFに設定されております。
DIP SW2	4のみON、他はすべてOFFとなっております。

3) スピーカ・ブザー音量の設定

スピーカやブザー音のボリュームを変更できます。

裏面にあるスピーカ用ボリューム、ブザー用ボリュームを回して、音量を調整します。

4) オールクリア

個人コード桁数と1指/2指モードのDIP SWを変更した場合はオールクリアが必要となります。
オールクリアを行いますと全ての登録されているデータが抹消されますのでご注意ください。

オールクリアは以下の手順で行います。

- ① 電気錠制御盤の電源をOFFにします。
- ② 電気錠制御盤内部のオプション基板の登録スイッチをONにします。
(工事店様用/お客様用取扱説明書5-2オプション基板の項を参照ください)。
- ③ F-7140のオールクリアスイッチ(DIP SW1-1)をONにします。
- ④ 電気錠制御盤の電源をONにします。
指紋照合リーダの電源LEDが黄色点灯し、約10秒後に解錠LED及びエラーLEDが、同時に赤点滅となり、ブザーが「ピッピー」と鳴動します。
- ⑤ テンキーから「登録用パスワード」を入力後、Eキーを入力します。解錠LED及びエラーLEDが赤の同時点灯になります。(テンキーを押すたびに「ピッ」と鳴動します。)
※出荷時は「登録用パスワード」は「0000」に設定されていますので、「0000E」と押します。
- ⑥ 約15秒後にブザーが「ピッピー」と鳴動し「オールクリア完了です。」とアナウンスされます。
このとき解錠LEDとエラーLEDが同時に緑点滅し、その後赤点滅に戻ります。
- ⑦ 指紋照合リーダのオールクリアスイッチ(DIP SW 1-1)をOFFし、次に電気錠制御盤のオプション基板の登録スイッチをOFFにします。 解錠LEDとエラーLEDが消灯します。
- ⑧ これでオールクリアは完了し、DIP SWの設定が有効になります。
F-7140の設定が完了したら以下の手順で動作の確認を行います。

5) 登録操作

- ① 電気錠制御盤内部のオプション基板にある登録用スイッチをONにします。
- ② 指紋照合リーダの電源LEDが黄色点灯し、約10秒後に解錠LED及びエラーLEDが同時に緑橙交互点滅します。
- ③ 解錠LED及びエラーLEDが橙点灯しますので、テンキーから「登録用パスワード」を入力後、Eキーを入力します。「登録用パスワード」が正しければ「ピッピー」と鳴動し、登録モードへ移行します。
※出荷時は「登録用パスワード」は「0000」に設定されていますので、「0000E」と押します。
- ④ 登録モード中は解錠LED及びエラーLEDは橙点滅します。

6) 指紋登録操作

- ① テンキーから「*1E」を入力します。
- ② 個人コードを入力します。
- ③ 「指を置いてください。」とアナウンスされますので、アナウンスに従い指を置きます。
指を置いた後、「指を離してください。」とアナウンスされますので指示に従い指を離します。
1指の登録で3回、指を置いていただきます。
次ページの指紋登録手順表をご確認いただくようお願い致します。
※1指モード設定の場合は1指、2指モード設定の場合は必ず2指の指紋登録を行います。
- ④ 登録完了です。

指紋登録手順表

LED表示 : A=点灯、B=遅い点滅、C=早い点滅、—=消灯

手順	操作方法	LED		ブザー	音声
		解錠	エラー		
1	* 1Eを入力する。	橙 C	橙 C	無音	指紋登録を開始します。 個人コードを入力してください。
2	個人コードを入力した後、Eを押す。 →1指目の登録を開始する。	緑 C	—	無音	1指目、指を置いてください。
	→すでに登録されている個人コードを入力した場合はエラーとなり、もう一度個人コード入力をやり直す。	—	赤A	ピー	すでに登録されています。もう一度最初からやり直してください。
3	指を置く(1指目、1回目)	緑 A	—	ピッ	指を離してください。
4	ブザー音「ピッ」の後、指を離す。	緑 A	緑 C	無音	指を置いてください。
5	指を置く(1指目、2回目)	緑 A	緑 A	ピッピッ	指を離してください。
6	ブザー音「ピッピッ」の後、指を離す。	緑 C	緑 C	無音	指を置いてください。
7	指を置く(1指目、3回目) →1指目指紋登録完了。	緑 B	緑 B	ピッピー	1指目、登録完了です。
	→エラーの場合、手順2へ戻る。	—	赤A	ピー	エラーです。もう一度最初からやり直してください。
8	ブザー音「ピッピー」の後、指を離す。 →2指目の登録を開始する。	橙C	—	無音	2指目、指を置いてください。
9	指を置く(2指目、1回目)	橙 A	—	ピッ	指を離してください。
10	ブザー音「ピッ」の後、指を離す。	橙 A	橙 C	無音	指を置いてください。
11	指を置く(2指目、2回目)	橙 A	橙 A	ピッピッ	指を離してください。
12	ブザー音「ピッピッ」の後、指を離す。	橙 C	橙 C	無音	指を置いてください。
13	指を置く(2指目、3回目) →2指目指紋登録完了。	緑 B	緑 B	ピッピー	2指目、登録完了です。次の人の登録へ移ります。
	→エラーの場合、手順2へ戻る。	—	赤A	ピー	エラーです。もう一度最初からやり直してください。
14	手順2へ戻り、他の人の指紋登録へ移る。	橙 C	橙 C	無音	個人コードを入力してください。

7) 登録モードの終了

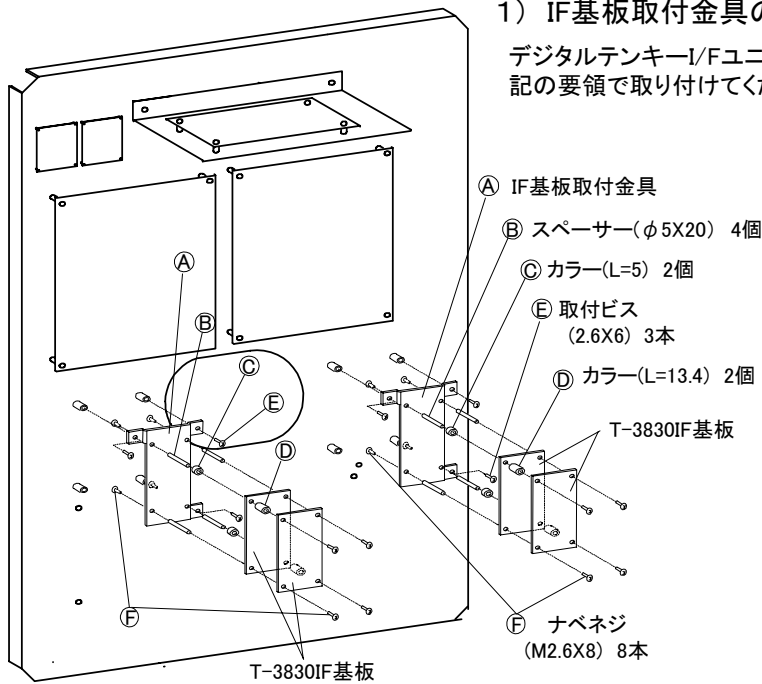
- ① 電気錠制御盤内部のオプション基板にある登録用スイッチをOFFにします。
- ② 解錠LED及びエラーLEDが消灯し、運用モードへ戻ります。

8) 運用

- ① 個人コードを入力した後、Eを押します。
- ② 解錠LEDが橙点滅し、「指を置いてください。」とアナウンスされます。アナウンスに従い、指紋照合部に登録した指を置きます。
- ③ 照合OKならば、解錠LEDが緑点滅し、「OKです。」とアナウンスされます。

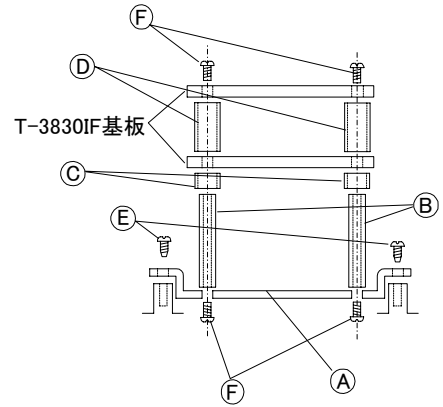
5-6. デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IF (取付金具付)

(1) 取付・接続



1) IF基板取付金具の取り付け

デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IF (取付金具付)は下記の要領で取り付けてください。



取り付け金具組立詳細

カラー C D は対角線上に使用します。

2) IF基板の接続

T-3830IFを接続する際、別途オプション基板を追加して接続すると、テンキー操作部に電気錠の施・解錠の状態を表示することができます。(オプション基板を使用する場合の接続方法は次ページを参照ください。)

オプション基板を使用しない場合は電気錠の状態ではなく、暗証番号の照合結果を表示します。

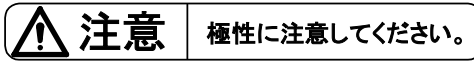
①オプション基板を使用しない場合の接続

a) 照合出力(黄色ケーブルの接続)

T-3830IFの黄ケーブル2本をCPU基板の端子台TB1の9, 10番に接続します。(極性はありません。)

b) 電源ケーブルの接続

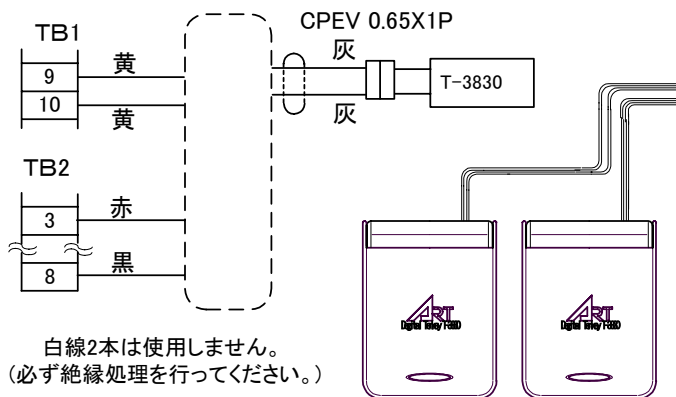
T-3830IFの黒ケーブルをCPU基板の端子台TB2の8, 赤ケーブルをTB2の3番に接続します。



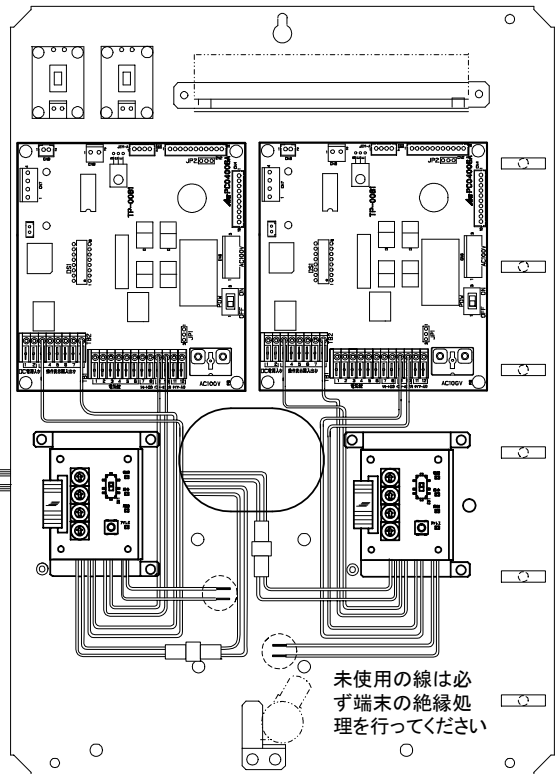
極性に注意してください。

CPU基板

T-3830IF基板



白線2本は使用しません。
(必ず絶縁処理を行ってください。)



②オプション基板を使用した接続方法

a) 照合出力(黄色ケーブル)の接続

T-3830IFの黄ケーブル2本をCPU基板の端子台TB1の9, 10番に接続します。(極性はありません。)

b) 解錠入力信号(白色ケーブル)の接続

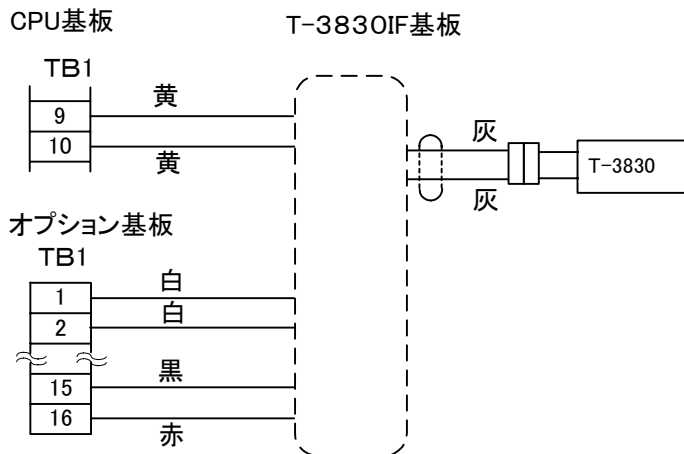
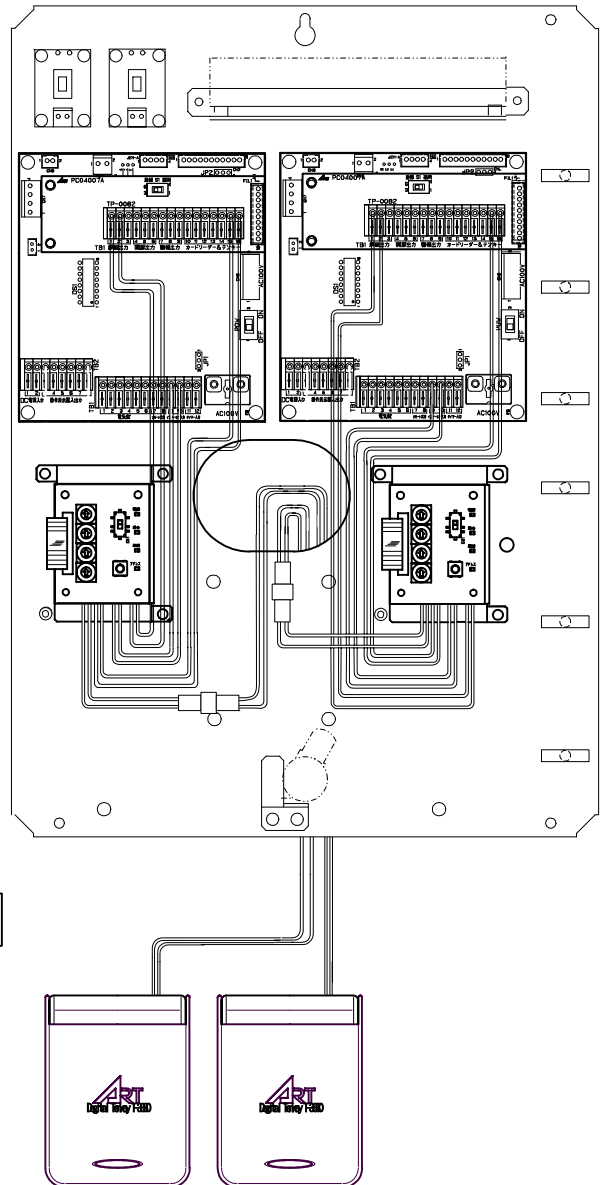
T-3830IFの白色ケーブル2本をオプション基板の端子台TB1の1, 2番に接続します。(極性はありません。)

T-3830IFの解錠入力切替スイッチを『有』に設定してください。電気錠が解錠するとテンキーへ操作部表面のLEDが緑色で点滅します。

c) 電源ケーブルの接続

T-3830IFの黒ケーブルをオプション基板の端子台TB1の15番, 赤ケーブルをオプション基板のTB1の16番に接続します。

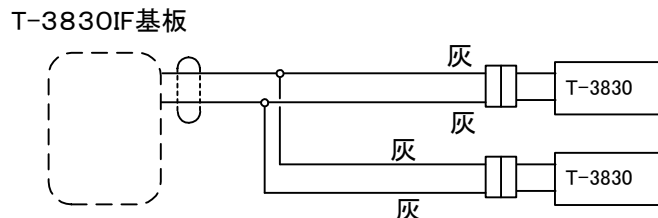
注意 極性に注意してください。



3) テンキー操作部を2台使用する場合の接続

入室時だけでなく退室の際にもテンキー操作を行うような運用に対しましては、テンキー操作部(T-3830)を2台接続することができます。

ただし、記憶できる暗証番号は1種類ですので、テンキー操作部の暗証番号は2台とも共通となります。

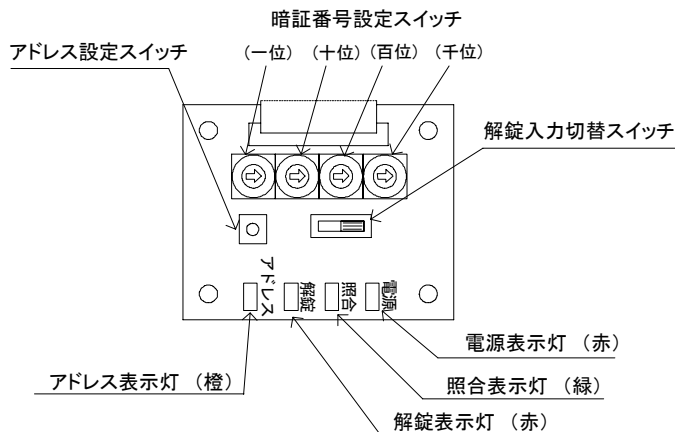


ケーブルの接続部はハンダづけを行い、絶縁処理願います。

※ テンキーを2台接続する場合、それぞれのテンキー操作部に異なるアドレスをを設定する必要があります。

(2) 設定

1) デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IF 配置図



2) 暗証番号の設定

暗証番号の各桁とスイッチについては上図のとおりになります。

① マイナスドライバを使用し、各暗証番号設定スイッチの⇒を番号にあわせませす。

※設定された暗証番号は装置を起動しなおさなくてもすぐに使用できます。

3) 解錠入力切替スイッチの設定

解錠入力切替スイッチにより解錠入力を使用・未使用の設定をします。

以下のように制御部に接続しているかどうかで解錠入力切替スイッチを切替えます。

① 解錠入力(白)を制御部に接続している場合、解錠入力切替スイッチを有に設定します。

② 解錠入力(白)を制御部に接続していない場合、解錠入力切替スイッチを無に設定します。

※オプション基板 (BAN-F01B・02B用OP) を使用して接続した場合、上記①の設定にします。

4) テンキーアドレスの設定

デジタルテンキーを2台接続(入退室ともテンキーを利用)する場合は各テンキーに異なるアドレス設定が必要となります。

一方のテンキー操作部のアドレスを工場出荷時の設定1からアドレス2に変更します。

※出荷時点のテンキー操作部はアドレス1に設定されています。

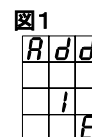
扉の外側だけに1台のテンキー操作部を設置する場合はアドレスを変更する必要はありません。

① デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IFのアドレス設定スイッチを押して下さい。

アドレス設定モードになり、基板上のアドレス表示灯が点灯します。

② アドレス設定モード中はテンキー操作部の状態表示灯が紫色に点灯します。

③ テンキー操作部のテンキー部が図1のような表示となりますのでEキーを押します。
 (図1は現在設定されているアドレス 1 を表示しています。)



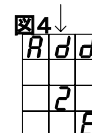
④ 表示が図2のように変わりますので、設定するアドレスの数字を押します。



⑤ 図3のようにEキーが表示されます。
 このEキーを押します。



⑥ 図4のように表示されてアドレスの設定が完了します。
 (図4は新たに設定されたアドレス 2 を表示しています。)



⑦ デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IFのアドレス設定スイッチを再度押すとアドレス設定モードを終了し、アドレス表示灯が消灯します。

(アドレス設定モードを終了するとテンキー操作部の状態表示灯は運用状態の青の点灯となります。またアドレス設定の操作を3分間行わなかった場合も同様となります。)

5)操作・運用

- ① テンキーにタッチします。
- ② 0～9の数字及び「E」キーがランダムに表示されます。
- ③ 4桁の暗証番号を入力し、「E」キーを入力します。
- ④ 入力された暗証番号が正しい場合は状態表示灯が緑点滅 (解錠入力無し設定の場合は緑点灯)し電気錠が解錠します。
- ⑤ 入力された暗証番号が間違っていた場合は状態表示灯が赤点灯します。

※ 防犯上4回連続して間違った暗証番号を入力すると、状態表示灯が赤点滅してブザーが鳴動し30秒間テンキーを使用できなくなります。 30秒後に正規の暗証番号を入力し直します。

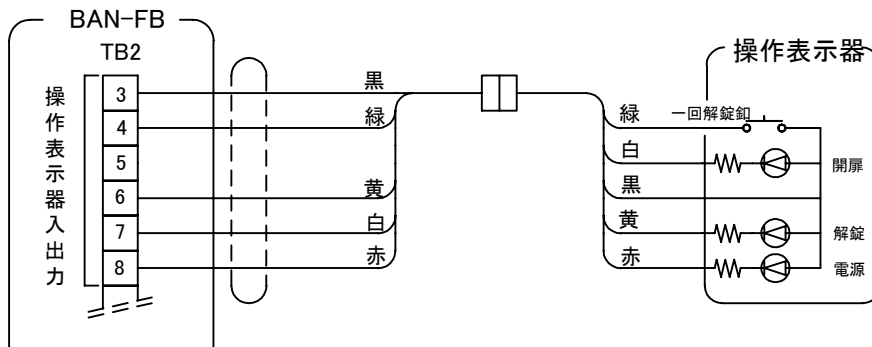
T-3830の状態表示灯は以下のように表示されます。

点灯色	点滅/点灯	機器の状態
青	点灯	待機時
緑	点滅 ※1	一回解錠時
		連続解錠時(Bモード)
赤	点灯	暗証番号入力失敗エラー
	点滅	暗証番号4回連続失敗エラー
紫	点灯	アドレス設定モード時

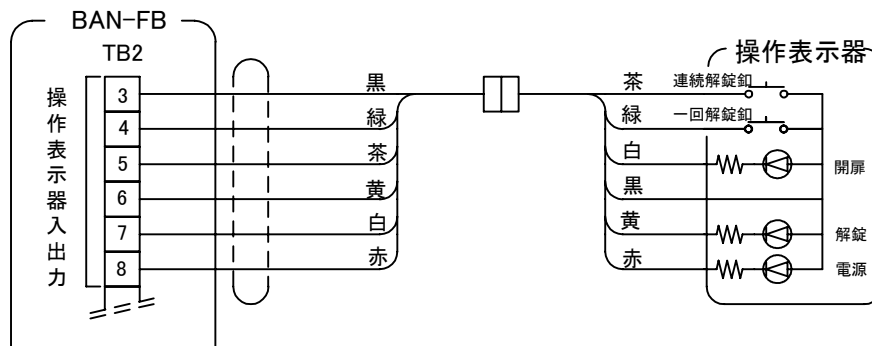
※1 解錠入力無しの場合、照合時のみ緑点灯します。

5-7. 操作表示機の接続

(1) B-9612F



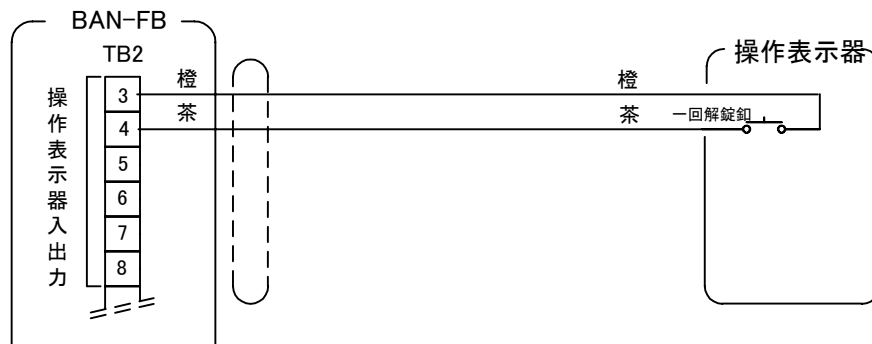
(2) B-9615F



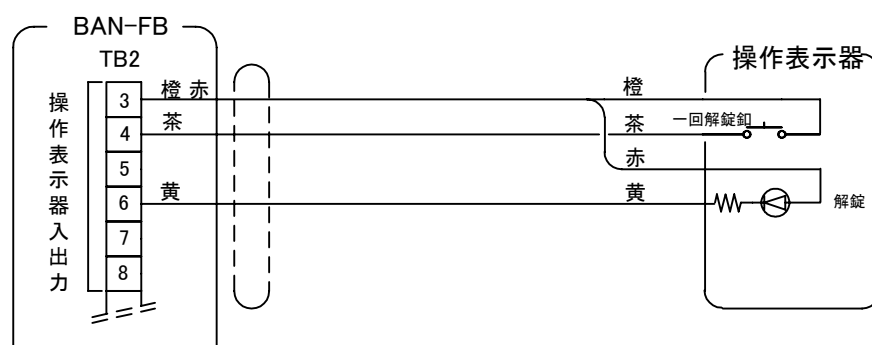
※本体をBモードで使用の場合、一回解錠は解錠、連続解錠は施錠となります。

※JP1が1-2に差し込まれていることを確認してください。

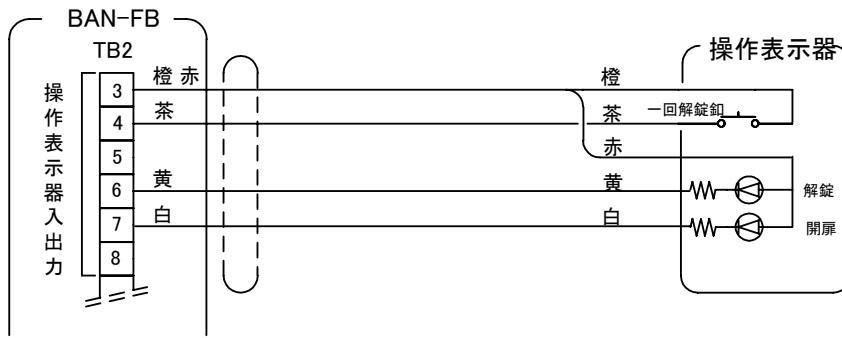
(3) 面付型B-9510F / 卓上型B-9510S



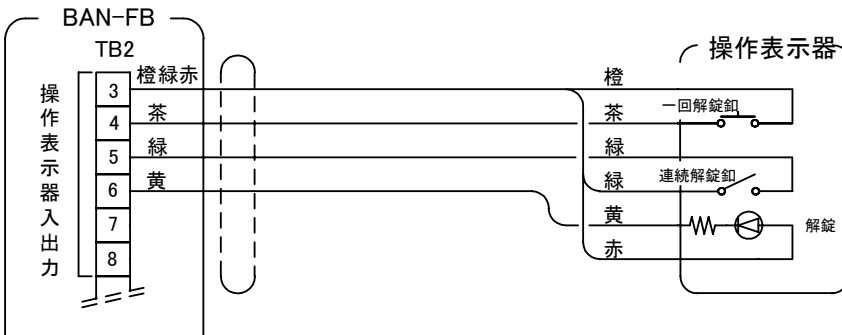
(4) 面付型B-9511F / 卓上型B-9511S



(5) 面付型B-9512F / 卓上型B-9512S

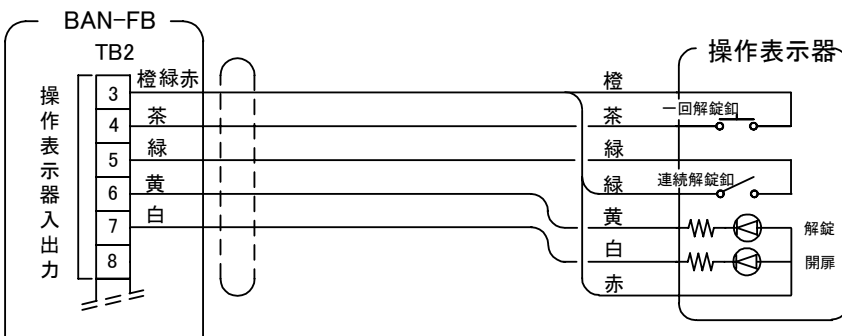


(6) 面付型B-9511FA / 卓上型B-9511SA



※JP1が2-3に差し込まれていることを確認してください。

(7) 面付型B-9512FA / 卓上型B-9512SA



※JP1が2-3に差し込まれていることを確認してください。

(8) B-9511F* 非常用



※JP1が2-3に差し込まれていることを確認してください。

6. 動作テスト（オプション品）

以下のチェックポイントを確認してください、正常に動作しない場合は正しく配線されているか、設定は正しいか、扉のたてつけに問題が無いか確認してください。

操作	チェックポイント	<input checked="" type="checkbox"/>
タイマユニット AT-01(C-U11TM)		
1. タイマユニットの時刻と曜日の設定を解錠時刻の時間帯に変更します。	①電気錠が解錠する <input type="checkbox"/> ②扉を開け閉めしても解錠を保持する <input type="checkbox"/> ③電気錠制御盤の施錠ボタンや、サムターンを回し電気錠が解錠を保持する <input type="checkbox"/>	
2. タイマユニットの時刻と曜日の設定を施錠時刻の時間帯に変更します。	①電気錠が施錠する <input type="checkbox"/> ②電気錠制御盤の解錠ボタンや、サムターンを回し電気錠が解錠する <input type="checkbox"/>	
※動作テスト後には忘れずにタイマユニットの時刻と曜日の設定を現在時刻に戻して下さい。		
オプション基板 BAN-F01B・02B用OP		
1. テスタを用い、端子台の出力を確認します。	①使用する端子台の出力が【5-3オプション基板】の出力の通り正しく出力されている <input type="checkbox"/>	
バッテリー BAN-F01B・F02B BATT		
1. 電源スイッチをOFFにします。	①電源表示灯が点灯する <input type="checkbox"/>	
2. 電気錠制御盤の一回解錠ボタンを押します。	①解錠表示灯が点滅をする <input type="checkbox"/> ②電気錠が解錠する <input type="checkbox"/> ③設定した時間解錠している <input type="checkbox"/> ④電気錠が施錠する <input type="checkbox"/> ⑤解錠表示灯が消灯する <input type="checkbox"/>	
※通電時解錠型の電気錠はバッテリー残量が不足すると施錠します。		
磁気式カードリーダー R-2710		
1. 一般カードをリーダーにスライドさせます。	①電気錠が解錠する <input type="checkbox"/> ②扉を閉めると施錠する <input type="checkbox"/> ③登録したグループのカードが有効になっている <input type="checkbox"/> ④登録されていないグループのカードが無効になっている <input type="checkbox"/>	
指紋照合式リーダー F-7140		
1. 個人コードを入力し、指紋照合します。	①電気錠が解錠する <input type="checkbox"/> ②扉を閉めると施錠する <input type="checkbox"/> ③指紋照合リーダーのLED表示が正しく表示されている <input type="checkbox"/>	
※テストのために指紋データの登録を行った場合は、テスト終了後にオールクリアを行い指紋データの抹消を行って下さい。		

操作	チェックポイント <input checked="" type="checkbox"/>
デジタルテンキー T-3830	
1. デジタルテンキーを使用して暗証番号を照合します。	①電気錠が解錠する <input type="checkbox"/> ②扉を閉めると施錠する <input type="checkbox"/> ③デジタルテンキーのLED表示が正しく表示されている ※ <input type="checkbox"/>
※オプション基板を使用しない場合、暗証番号の照合結果、使用する場合は電気錠の施解錠の状態が表示されます。	
操作表示器	
1. 操作表示器を使用して操作します。	①電気錠が一回解錠する <input type="checkbox"/> ②電気錠が連続解錠する <input type="checkbox"/> ③操作表示機のLED表示が正しく表示されている <input type="checkbox"/>

7. トラブルシューティング

7-1. 警報について

警報が発生するとブザー音が鳴動します。
下記の表をもとに警報状態を復旧させてください。

警報名	LED状態表示灯	警報内容と復旧方法
開扉警報		開扉警報時間を経過しても扉が開いたままの状態。 →閉扉または、解錠操作をしてください。
解錠不良警報		解錠操作したにも関わらず電気錠が解錠しなかった不良状態。 →サムターンまたは、鍵で解錠してください。
施錠不良警報		電気錠が正常に施錠しなかった不良状態。 →サムターンまたは、鍵で施錠してください。
コジアケ警報		電気錠が施錠状態にも関わらず扉が開いた(コジアケ)不良状態。 →一回解錠ボタンを押してください。

※ブザー音は警報状態が復旧するか、またはブザー停止ボタンを操作するまで鳴動を続けます。
※ブザー音の有無は切替が可能です(切替方法は【3-5 電気錠制御盤の設定】をご参照ください)。

【LED状態表示灯の凡例】

警報表示灯	開扉表示灯	解錠表示灯
消灯 点灯	消灯 点灯	消灯 点灯 点滅

7-2. 故障かな・・・と思ったら

機器の調子が悪いときや、故障かなと思ったときは以下のチェックポイントをご覧になってお調べください。それでも改善されないときは、最寄の営業部・支店・出張所へお問い合わせください。その際、型式・故障状況・購入年月日をお知らせください。

現象	原因	対策
電源ランプが点灯しない。	●電源スイッチが入っていない。	●電源スイッチをONにする。
	●電源ケーブルが断線している。	●電源ケーブルを正しく接続する。
解錠ボタンを押しても解錠しない。	●機器が正しく接続されていない。	●電源スイッチをOFFにし、接続図をもとに再度確認する。
	●ディップスイッチの設定が間違っている。	●電源スイッチをOFFにし、再度ディップスイッチの設定を確認する。
警報状態が復旧しない。	●扉に無理な力がかかっている。	●扉を前後、上下、左右に動かし扉の調整をする。
	●扉と枠の隙間が大きい。	●扉の調整をする。
操作表示機で解錠しない。	●電気錠が正しく接続されていない。	●電気錠の接続を確認する。
カードで解錠しない。	●カードが正しく登録されていない。	●カードを再登録をする。
テンキーで解錠しない。	●暗証番号が間違っている。	●暗証番号を確認する。

8. アフターサービス

この度は、本機をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。(株)アートでは、安定した状態で、本機をお使い頂くために保守契約を行い、お客様に定期的な保守サービスを提供しております。

また、万一故障した場合の緊急時のお呼び出し等に対してもスポット対応を行っております。

保守契約・緊急時のスポット対応についてお問い合わせは、最寄の営業部・各支店・出張所へお尋ねください。

保証書は添付されておきませんので以下をご参照ください。
お客様へお渡し日より1年間、弊社保証規定に従い無償修理を行います。
お問合せ先： 株式会社アート E-mail: hinsyo@art-japan.co.jp
保証について： URL:<http://www.art-japan.co.jp/products.html>

9. 設定記入表

設定を以下の表に記入します。

内容	記入欄	
施工日	年 月 日	
回線	1回線目	2回線目
動作モード	モード (A/Bモード)	モード (A/Bモード)
解錠時間	秒 (5・10・20・30秒)	秒 (5・10・20・30秒)
ブザー音	有り・無し	有り・無し
停電時解錠	有り・無し	有り・無し
連続解錠入力	ワンショット / 連続	ワンショット / 連続
電気錠種	(電気錠型式)	(電気錠型式)